

第3次旭川市障害者計画の策定に関する市民アンケート結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第3次旭川市障害者計画は、障害者基本法に定める市町村障害者計画であり、障害者及び市民の意識・意向等を広く聴取し計画に反映させる必要があるため、アンケート調査を実施し、計画策定の基礎資料として活用する。

(2) 調査項目

ア 障害者共通

回答者の属性、障害の内容、生活状況、外出状況、就労の状況、地域生活、余暇活動、相談や情報の入手、災害時対応、障害に対する正しい理解の促進、障害者施策への要望

イ 障害別

- ・未就学児及び小・中・高校生（身体・知的障害者）
- ・病気や医療（精神障害者）

ウ 市民全般

回答者の属性、障害への関心及びボランティア意識、理念の普及度、障害への配慮等、障害者施策の今後の取組

(3) 調査方法

ア 調査対象地域 旭川市全域

イ 調査対象者 各障害者手帳の所持者及び18歳以上の旭川市民 合計 6,200人

ウ 抽出方法 (7) 各障害者手帳台帳から層化2段無作為抽出
(イ) 住民基本台帳から層化2段無作為抽出

エ 調査方法 調査票の郵送によるアンケート方式

オ 調査期間 平成27年10月28日～11月11日

(4) 回収結果

(内訳)

	発送数	有効回収数	回収率	記入不備等	総回収数
a 身体障害者	1,700	988	58.1%	0	988
b 知的障害者	1,300	632	48.6%	0	632
c 精神障害者	1,200	675	56.3%	1	676
d 18歳以上の市民	2,000	943	47.2%	0	943
合計	6,200	3,238	52.2%	1	3,239

(5) 集計結果の表し方

ア 比率は、原則として各設問の無回答を含む回答者総数に対する百分率で表している。

イ 回答の比率は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで算出しているため、比率の合計は100.0%にならない場合がある。

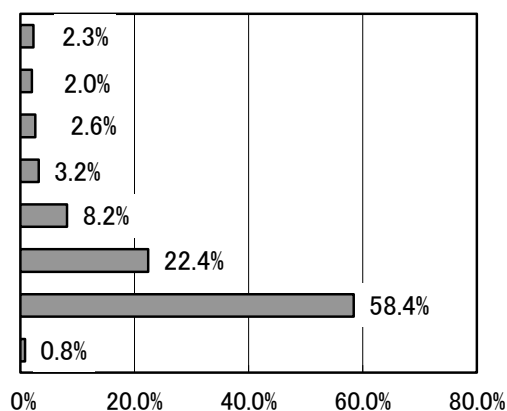
ウ 複数の回答を求める設問では、回答率の合計が100.0%を超える場合がある。

エ 設問の欄中に（SA）と記入した設問は回答を1つ、（MA）では複数選ぶものであり、（3LA）では主なものを3つ選ぶものである。

2 回答者の属性（身体障害者手帳所持者：調査票A）

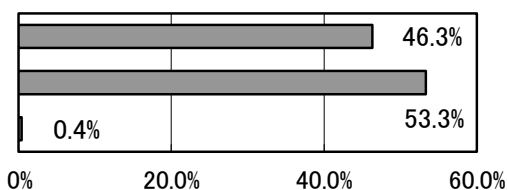
(1) 年齢階層

項目	回答数	構成比
19歳以下	23	2.3%
20～29歳	20	2.0%
30～39歳	26	2.6%
40～49歳	32	3.2%
50～59歳	81	8.2%
60～69歳	221	22.4%
70歳以上	577	58.4%
無回答	8	0.8%
計	988	100.0%



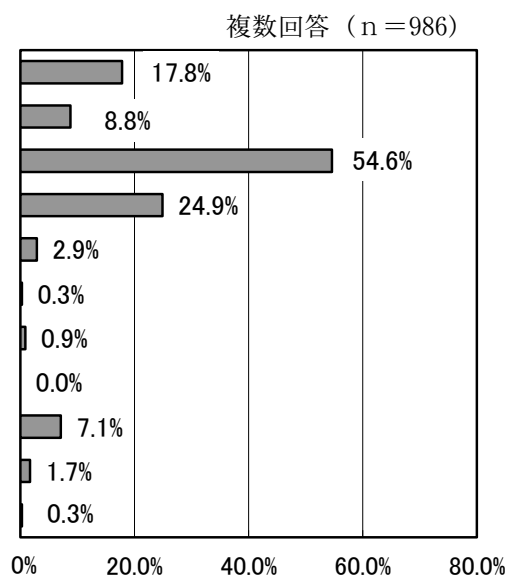
(2) 性別

項目	回答数	構成比
男性	457	46.3%
女性	527	53.3%
無回答	4	0.4%
計	988	100.0%



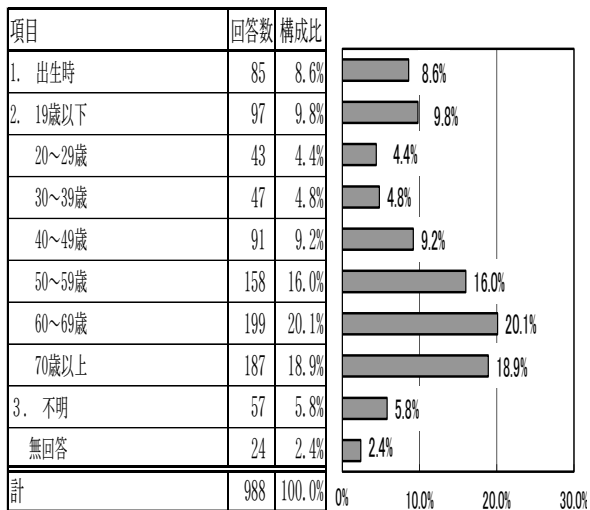
(3) 家族構成（MA）

項目	回答数	構成比
ひとりで	176	17.8%
親	87	8.8%
配偶者（夫または妻）	538	54.6%
子ども	246	24.9%
兄弟姉妹	29	2.9%
祖父母	3	0.3%
その他の親族	9	0.9%
知人・友人	0	0.0%
施設・グループホーム等	70	7.1%
その他	17	1.7%
無回答	3	0.3%

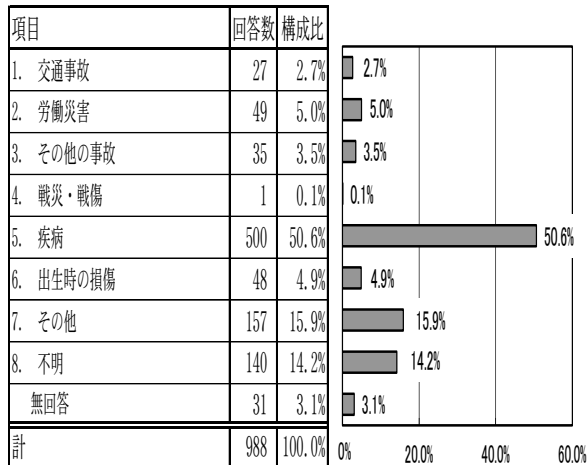


■あなたの障害の状態などについて、おたずねします。

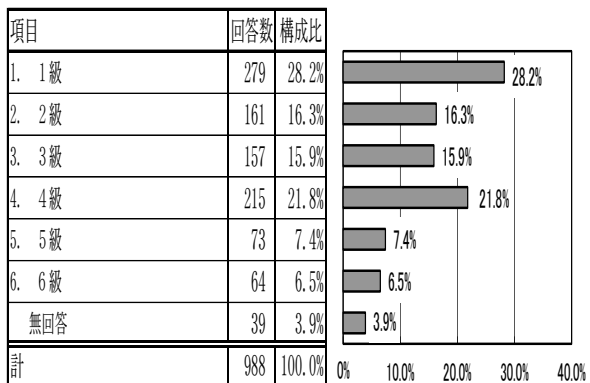
問4 あなたの障害が発生（判明）した時期は、何歳ごろですか。
(SA)



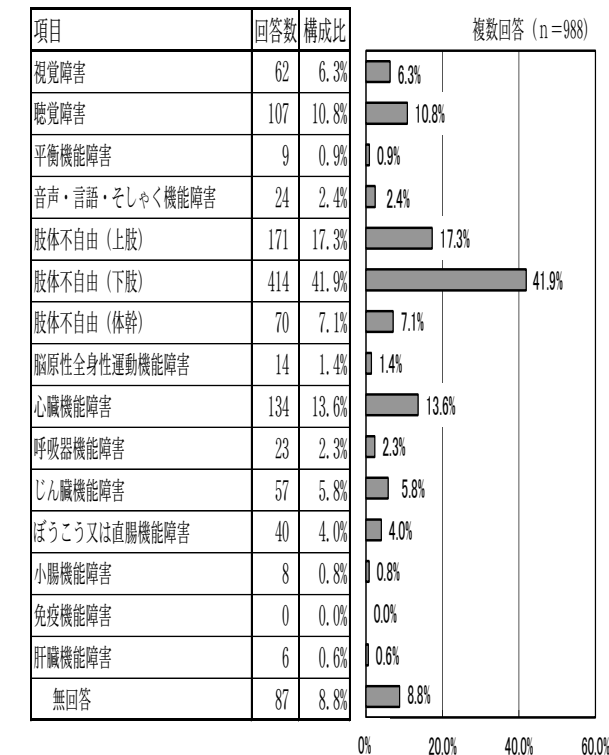
問5 あなたの障害の主な原因は、何ですか。
(SA)



問6 身体障害者手帳の等級は、何級ですか。
(SA)

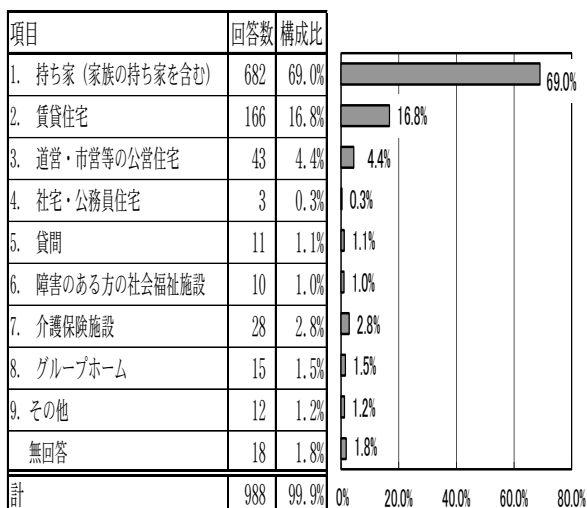


問7 身体障害者手帳の種類と等級について、お答えください。
(MA)



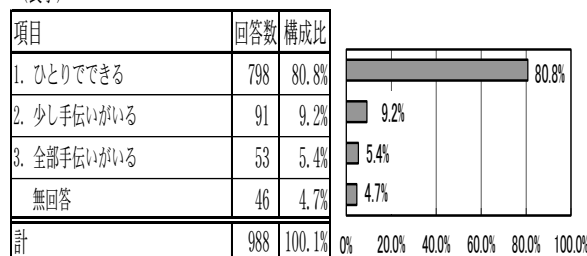
■あなたの生活状況について、おたずねします。

問8 あなたのお住まいを、お答えください。病院に入院中の方は、入院前のお住まいを選んでください。
(SA)

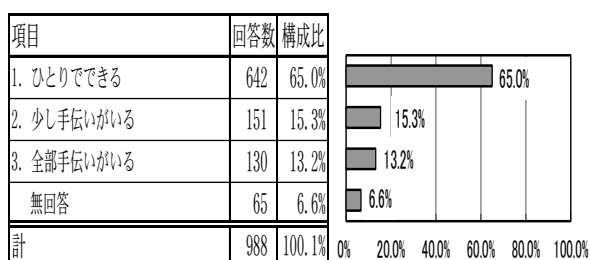
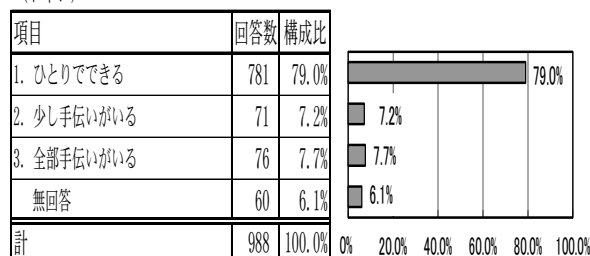


問9 あなたは、次のことをひとりでできますか。それぞれの項目について、お答えください。
(SA)

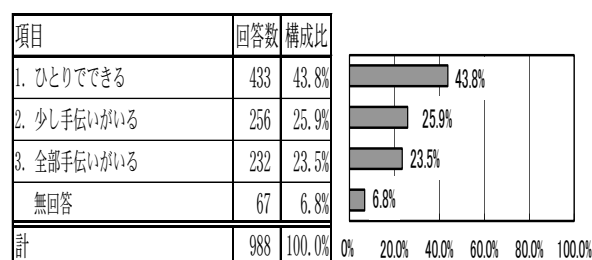
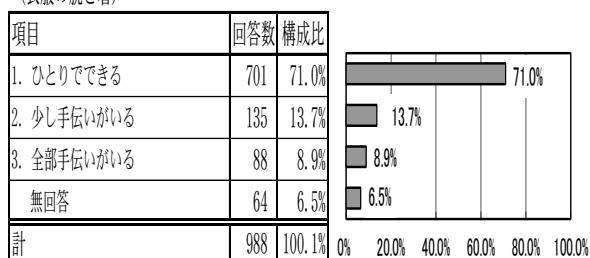
(食事)



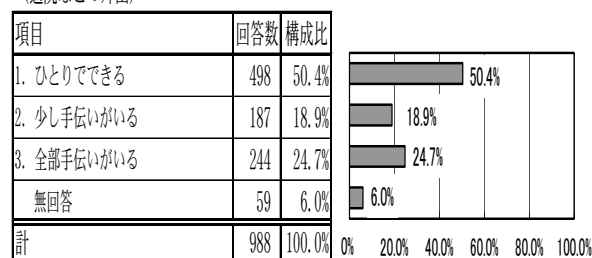
(トイレ)



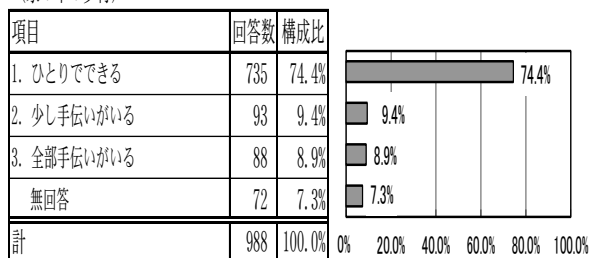
(衣服の脱ぎ着)



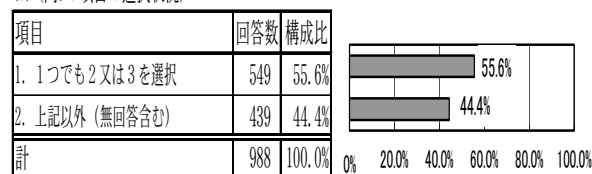
(通院などの外出)



(家の中の歩行)

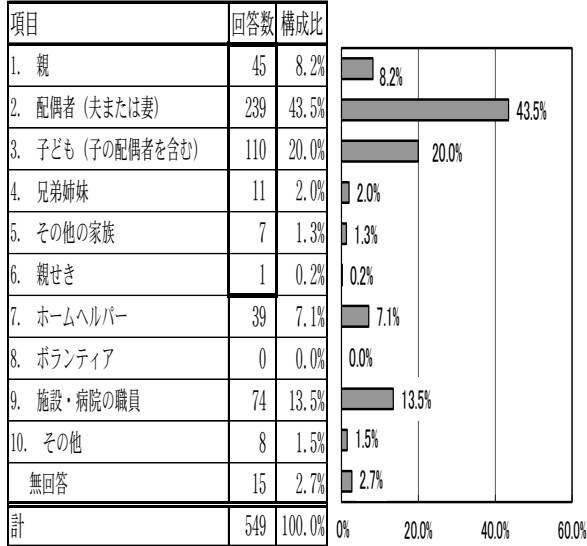


※(問9の項目の選択状況)



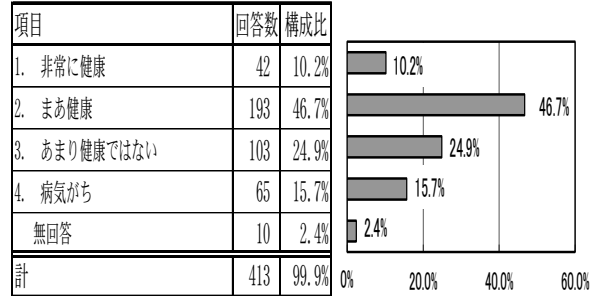
【問9で1つでも、2または3を選択した場合に、お答えください。】

問9-1 主な介助者の方は、どなたですか。
(SA)

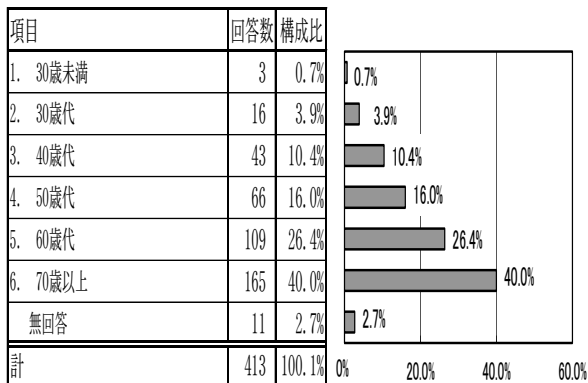


【問9-1で1から6までを選択した場合に、お答えください。】

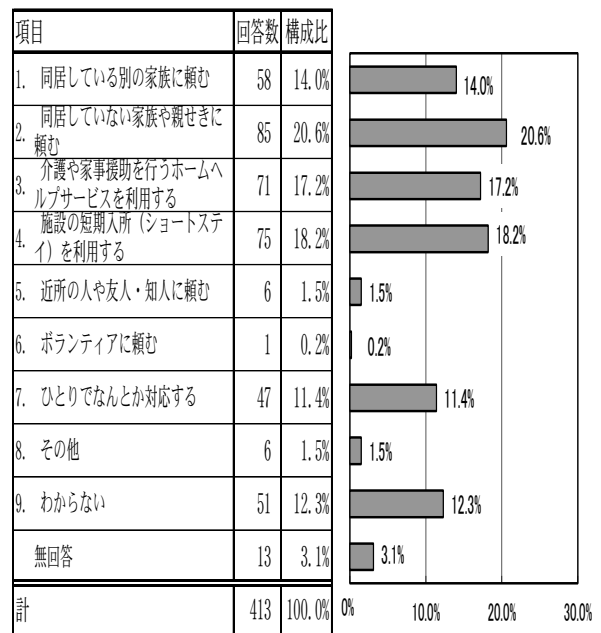
問9-2 主な介助者の方の健康状態は、いかがですか。
(SA)



問9-3 主な介助者の方の年齢は、何歳ですか。
(SA)

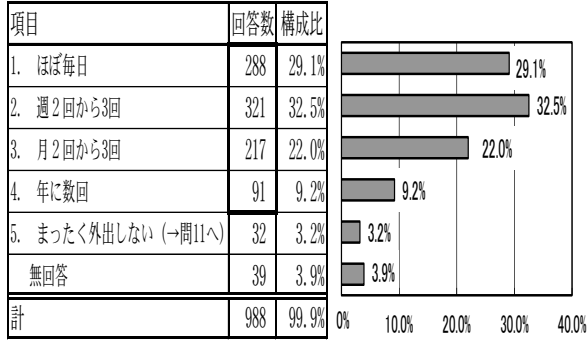


問9-4 主な介助者の方が急病・事故・出産などで介助できなくなった場合に、どのようにしたいですか。
(SA)



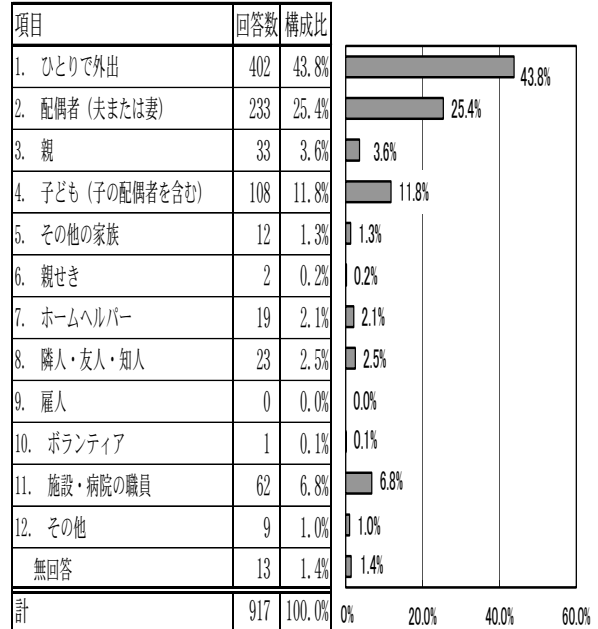
■あなたの外出状況について、おたずねします。

問10 あなたは、過去1年間にどのくらい外出しましたか。
(SA)

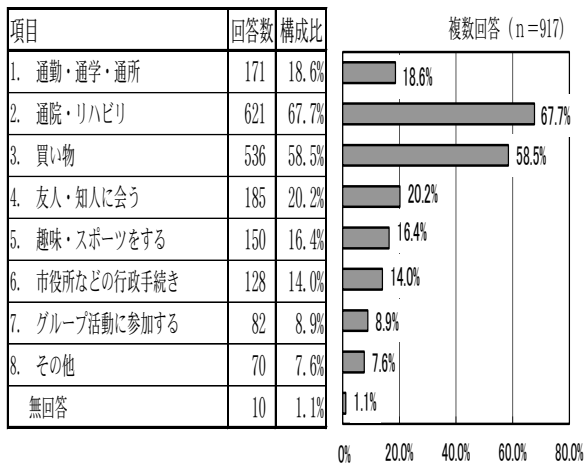


【問10で、1から4までを選択した場合に、お答えください。】

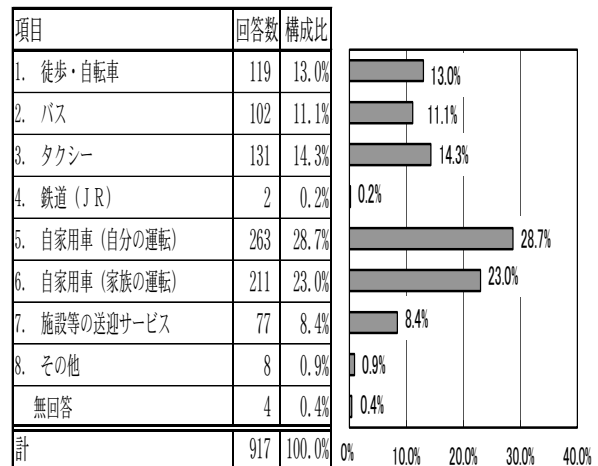
問10-1 主に誰と一緒に外出しましたか。
(SA)



問10-2 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(MA)

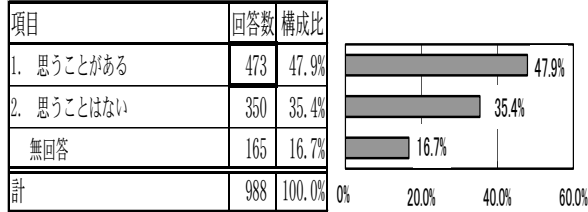


問10-3 主な外出の手段を、お答えください。
(SA)

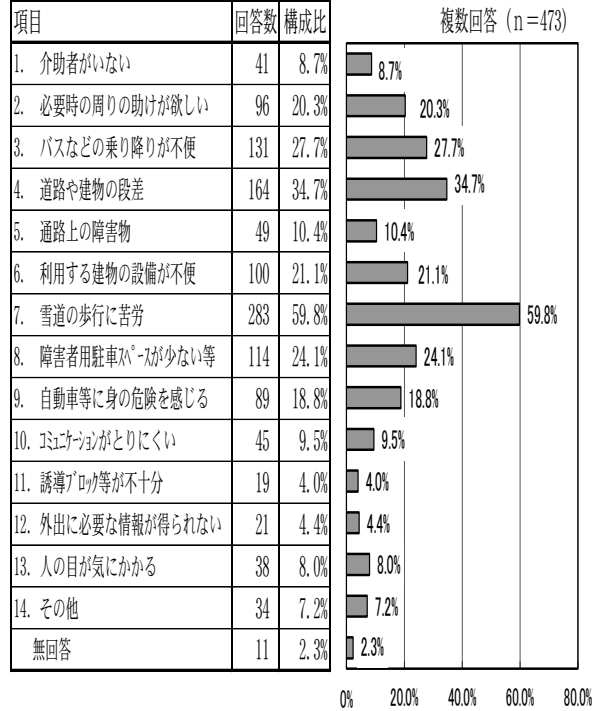


【問11で1を選択した場合に、お答えください。】

問11 あなたは、外出する上で困ることや不満に思うことがありますか。
(SA)

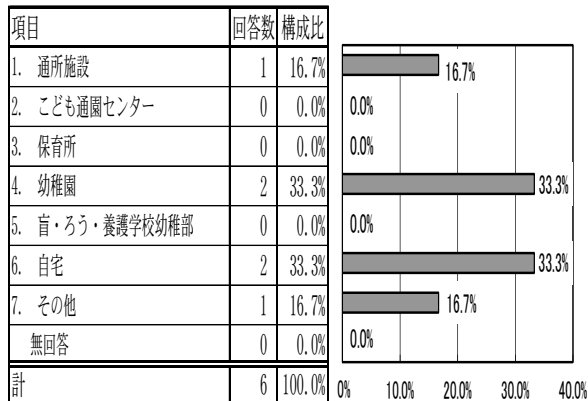


問11-1 困ることや不満に思うことは、何ですか。
(MA)



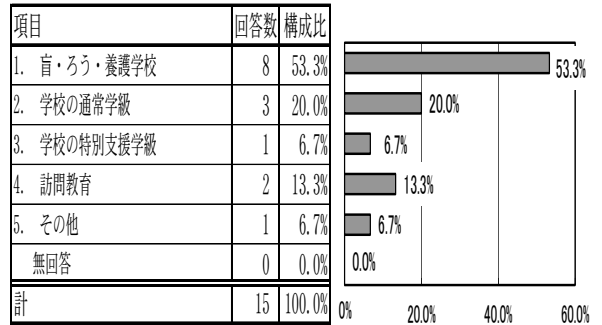
■小学校入学前の方に、おたずねします。

問12 あなたは、日中を主にどこで過ごしていますか。
(SA)



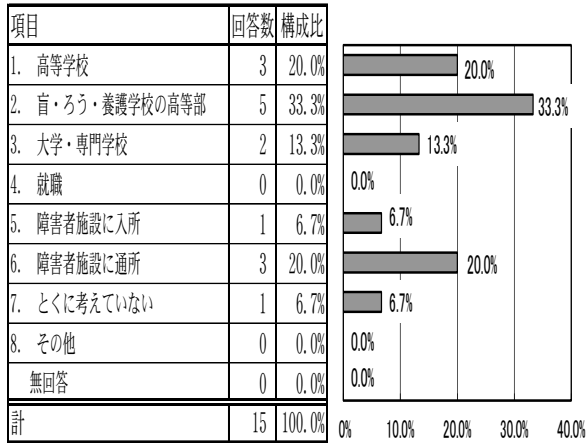
■小・中・高校生の方に、おたずねします。

問13 あなたの通学先は、どこですか。
(SA)

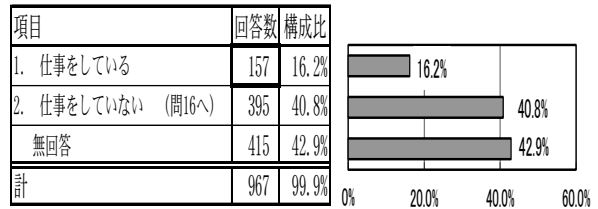


■学校を卒業した方に仕事について、おたずねします。

問14 あなたは、現在の学校を卒業した後の進路を、どのように考えていますか。
(SA)

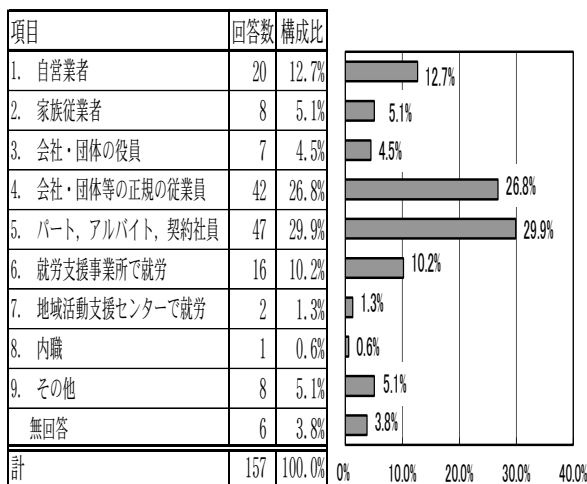


問15 あなたは、現在仕事をしていますか。
(SA)

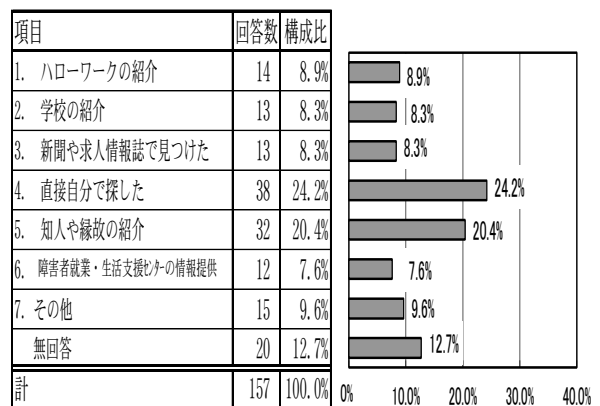


【問15で1を選択した場合に、お答えください。】

問15-1 どのような形で仕事をしていますか。
(SA)

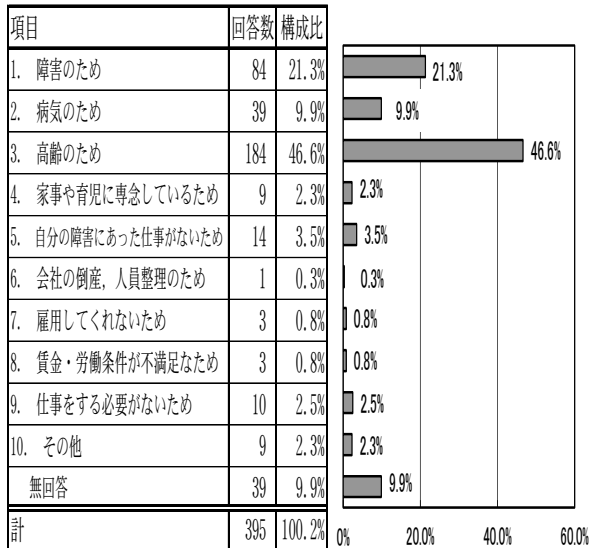


問15-2 現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。
(SA)



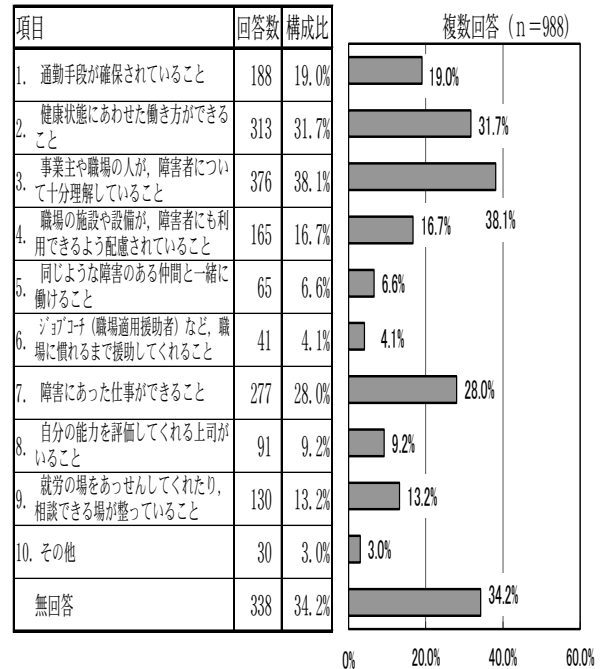
【問15で2を選択した場合に、お答えください。】

問16 仕事をしていない主な理由は、何ですか。
(SA)



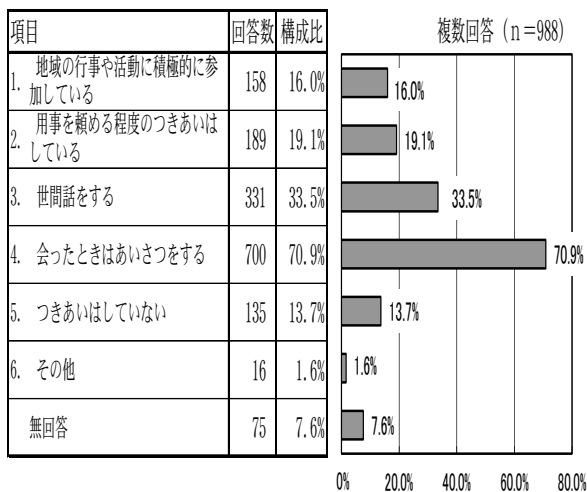
【すべての方にお聞きします。】

問17 障害のある方が働くために、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(3LA)

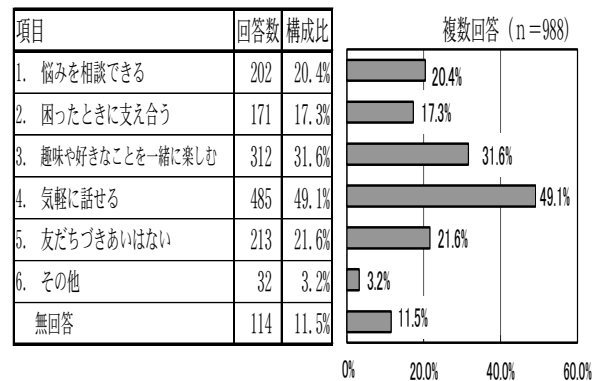


■地域生活について、おたずねします。

問18 地域・近隣の方とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)

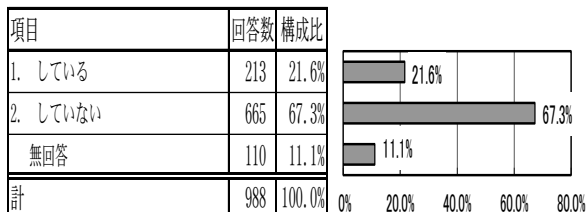


問19 友達とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)

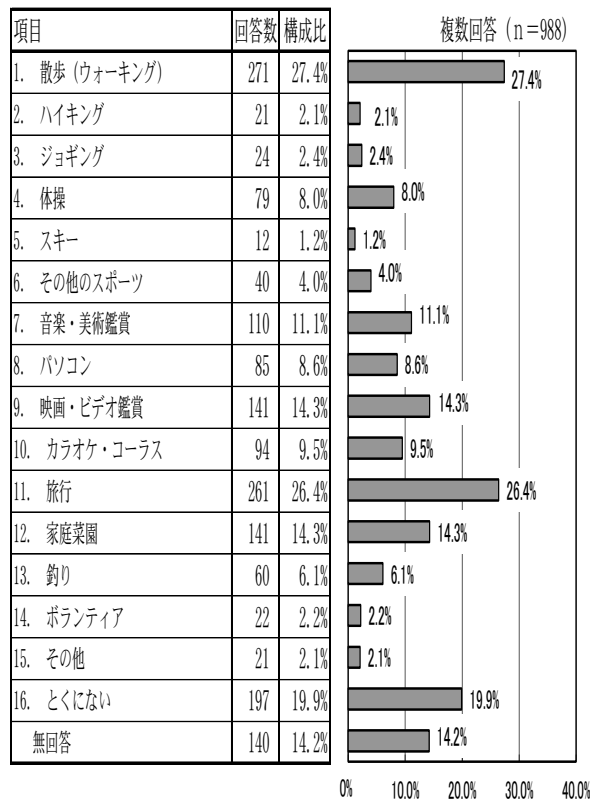


■余暇活動について、おたずねします。

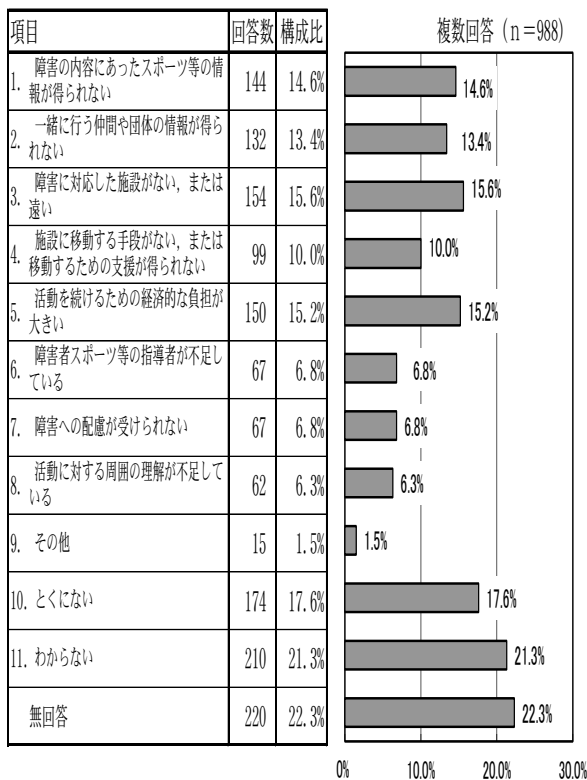
問20 あなたは、現在スポーツやレクリエーション等をしていますか。している場合は、その内容を具体的に教えてください。
(SA)



問21 あなたは、今後やってみたいスポーツやレクリエーション等がありますか。
(3LA)

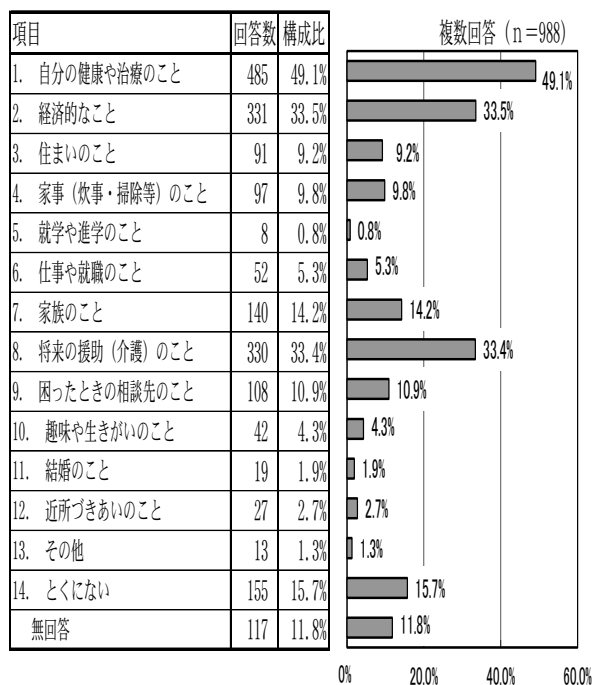


問22 障害のある方のスポーツやレクリエーション活動を推進するためには、現在どのような課題があると思いますか。
(MA)

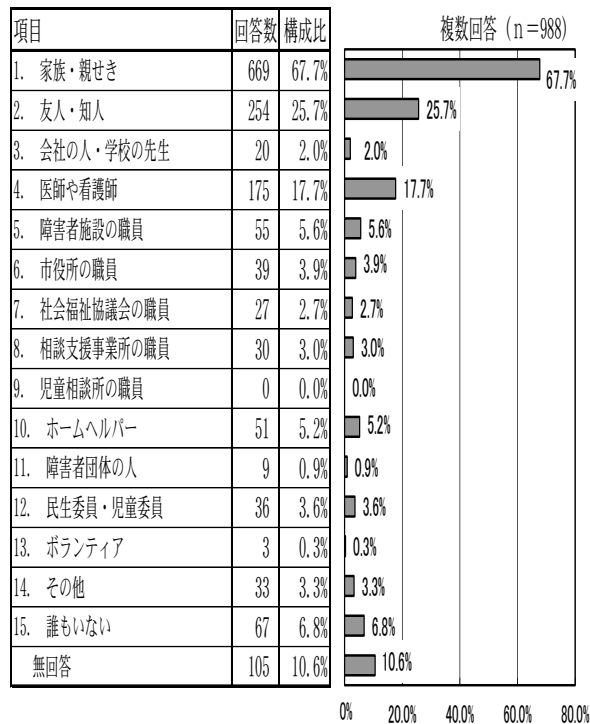


■相談ごとや情報の入手について、おたずねします。

問23 あなたは現在、悩んでいることや不安なことはありますか。
(MA)

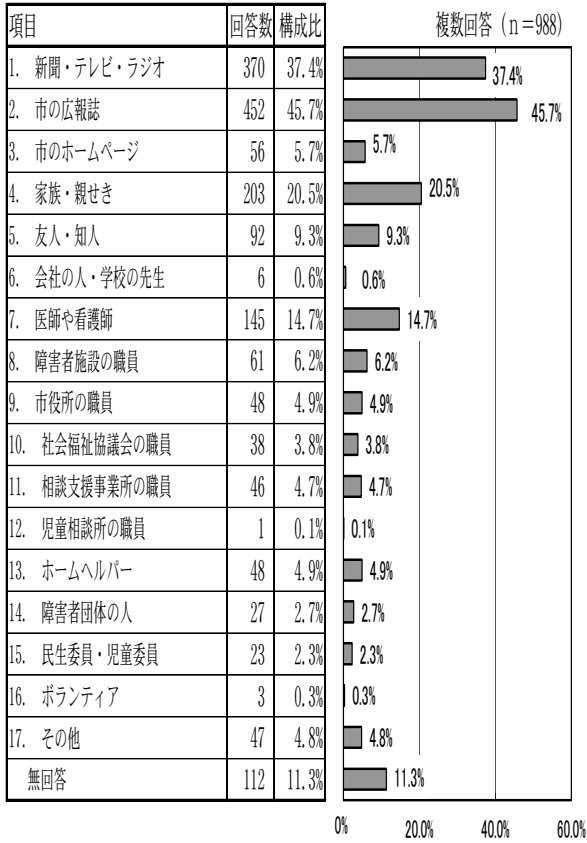


問24 あなたは、悩みごとや心配ごとを誰に相談しますか。
(3LA)

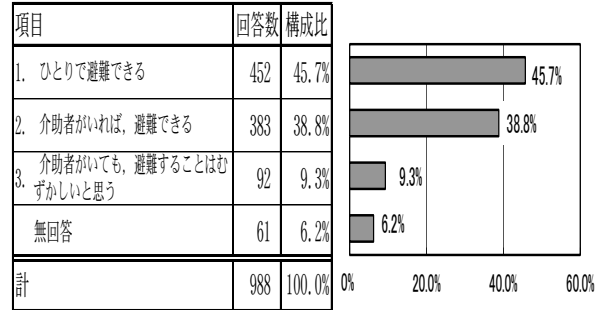


■災害時のことについて、おたずねします。

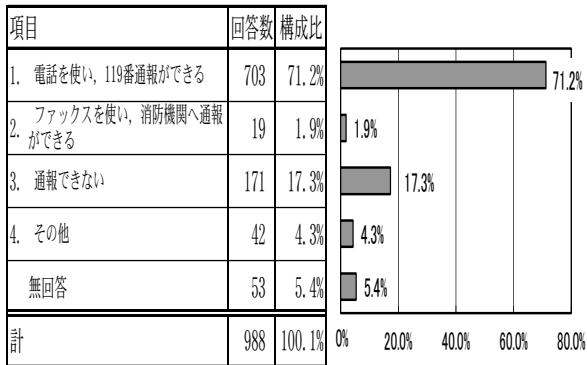
問25 あなたは、障害のことや福祉サービスの情報を、どこから入手していますか。
(3LA)



問26 あなたは、地震や洪水などの災害が発生した場合に、ひとりで避難できますか。
(SA)

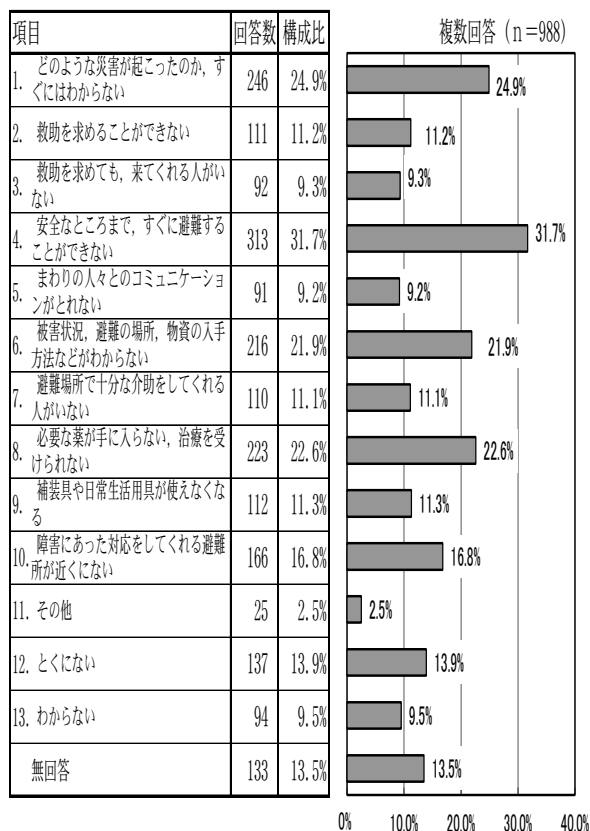


問27 あなたは、災害（火災・地震・急病など）が発生した場合に、ひとりで消防機関に通報することができますか。
(SA)

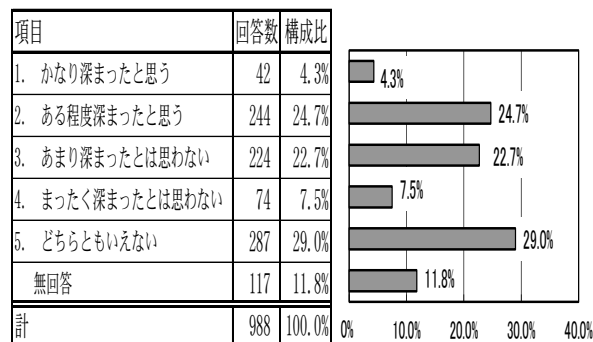


■障害に対する正しい理解の促進について、おたずねします。

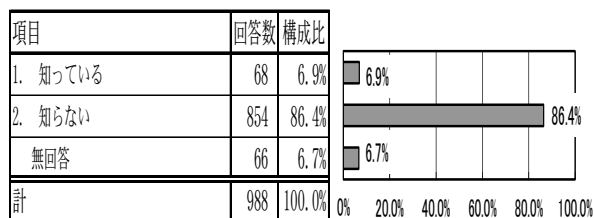
問28 あなたが地震や台風などの災害時に困ると思われることは、何ですか。
(MA)



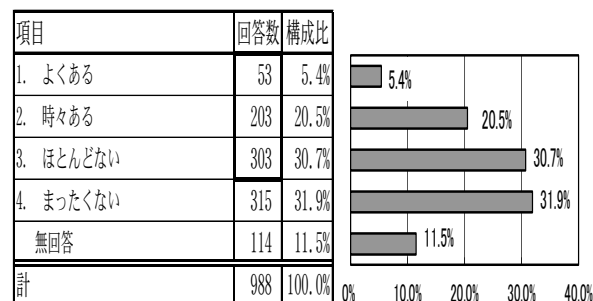
問29 あなたは、障害のある方に対する市民の理解について、どのように感じていますか。
(SA)



問30 あなたは、平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されることを、知っていましたか。
(SA)

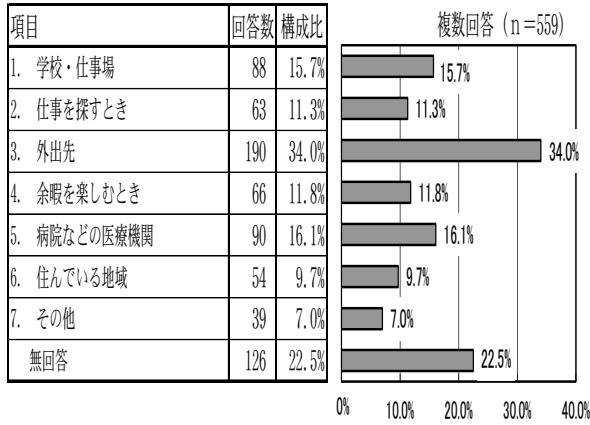


問31 あなたは、障害を理由として、差別を受けたと思ったこと、悲しく嫌な思いをしたことがありますか。
(SA)

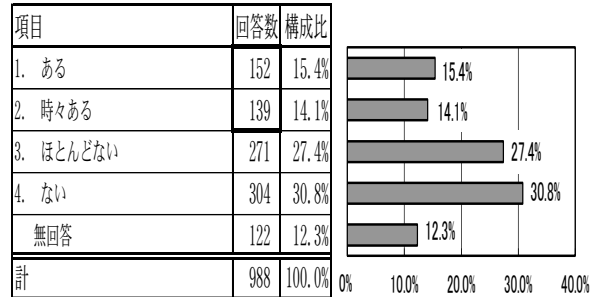


【問31で、1から3までを選択した場合に、お答えください。】

問31-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。
(MA)

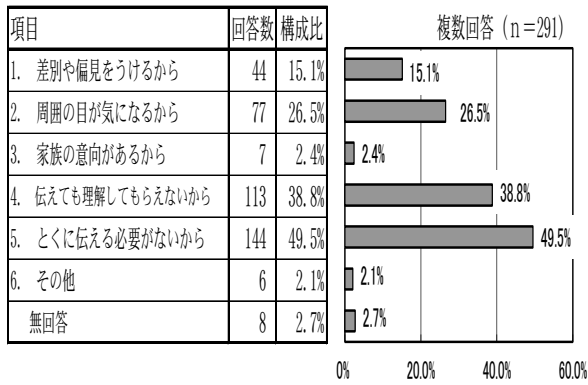


問32 あなたは、障害のために支援を受けたいような場合でも、身体障害者であることや、病気等のことを、周りの人に伝えなかったことがありますか。
(SA)

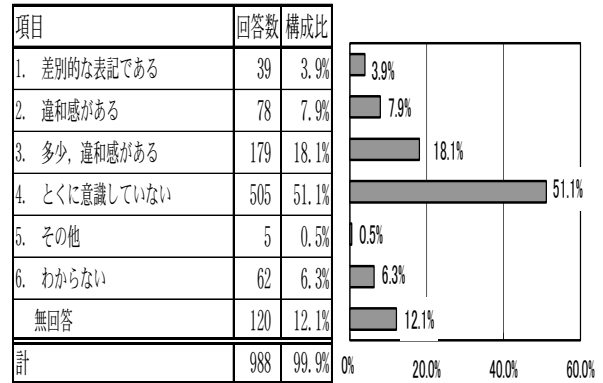


【問32で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

問32-1 身体障害者手帳を持っていることや、病気等があることを伝えなかった
(または伝えられなかった)理由には、どのようなものがありますか。
(3LA)



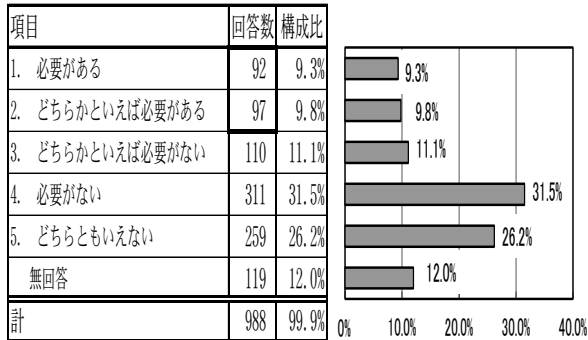
問33 あなたは、「障害者」という表記に、どのような思いがありますか。
(SA)



問34

(SA)

北海道や札幌市は、「障害者」の表記を「障がい者」としています。あなたは、旭川市において「障害者」という表記の一部または全部を変更する必要があると思いますか。

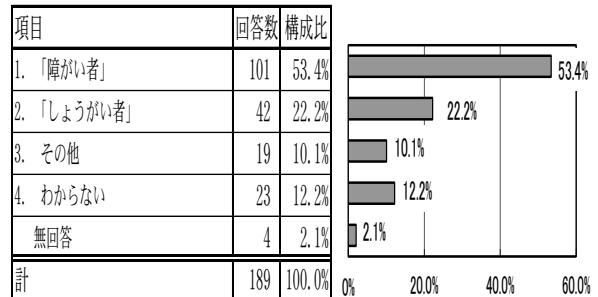


【問34で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

問34-1

(SA)

「障害者」に代わる表記として、どのような表記が良いと思いますか。

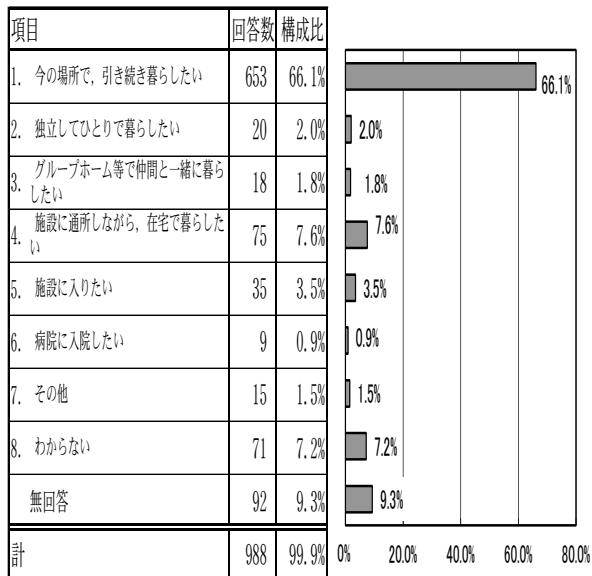


■将来のことや障害者施策への要望について、おたずねします。

問35

(SA)

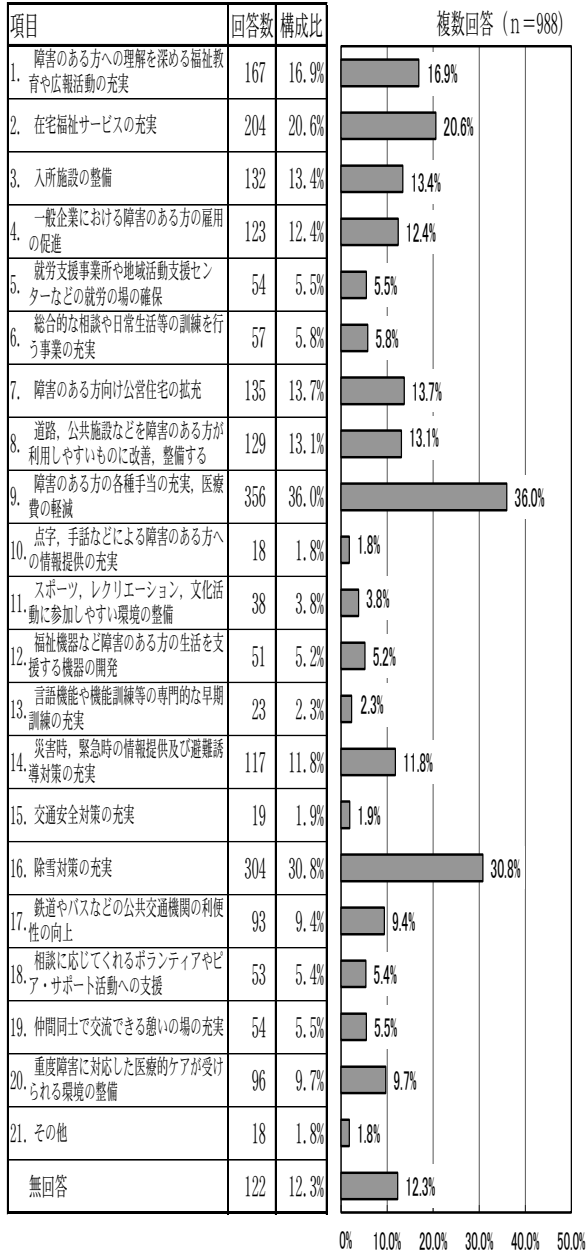
あなたは、今後どのように暮らしたいですか。



問36

(3LA)

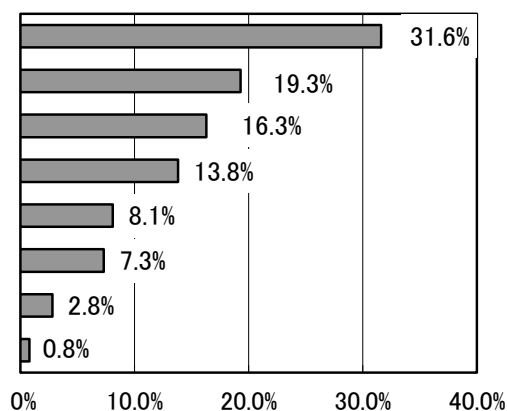
あなたは、今後、障害のある方への施策について、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



3 療育手帳所持者：調査票B

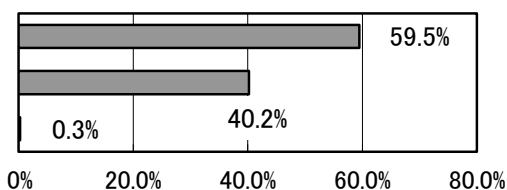
(1) 年齢階層

項目	回答数	構成比
19歳以下	200	31.6%
20～29歳	122	19.3%
30～39歳	103	16.3%
40～49歳	87	13.8%
50～59歳	51	8.1%
60～69歳	46	7.3%
70歳以上	18	2.8%
無回答	5	0.8%
計	632	100.0%



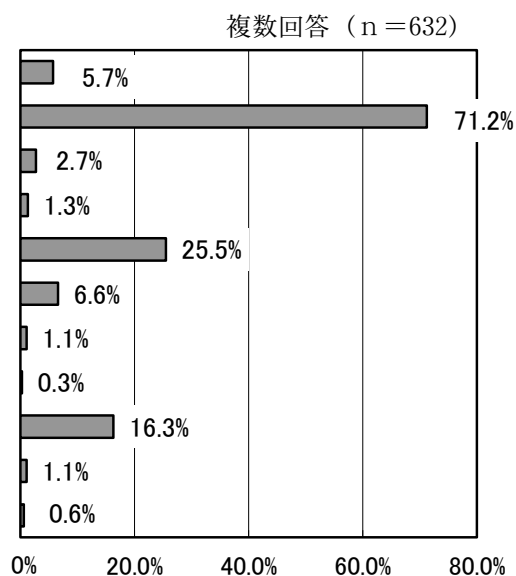
(2) 性別

項目	回答数	構成比
男性	376	59.5%
女性	254	40.2%
無回答	2	0.3%
計	632	100.0%



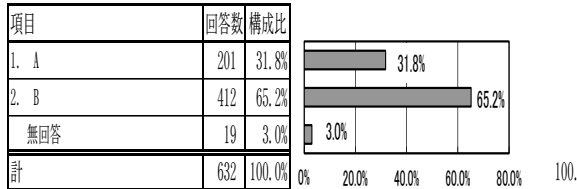
(3) 家族構成 (MA)

項目	回答数	構成比
ひとりで	36	5.7%
親	450	71.2%
配偶者 (夫または妻)	17	2.7%
子ども	8	1.3%
兄弟姉妹	161	25.5%
祖父母	42	6.6%
その他の親族	7	1.1%
知人・友人	2	0.3%
施設・グループホーム等	103	16.3%
その他	7	1.1%
無回答	4	0.6%

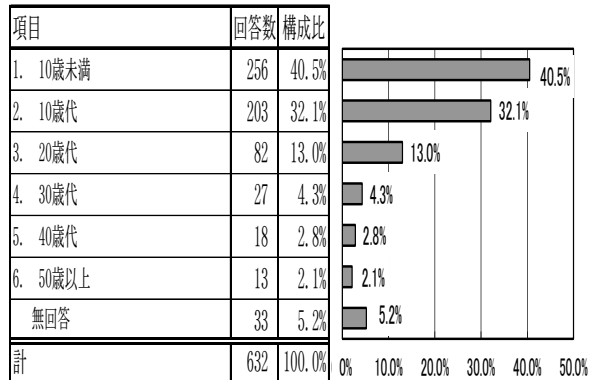


■あなたの障害の状態などについて、おたずねします。

問4 療育手帳の判定を、お答えください。
(SA)

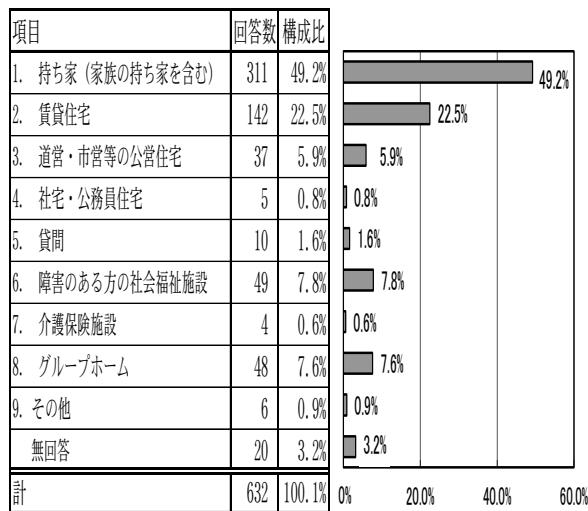


問5 療育手帳の最初の判定を受けたのは、何歳ごろですか。
(SA)



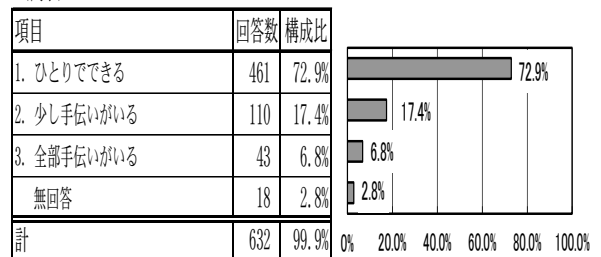
■あなたの生活状況について、おたずねします。

問6 あなたのお住まいを、お答えください。病院に入院中の方は、入院前のお住まいを選んでください。
(SA)

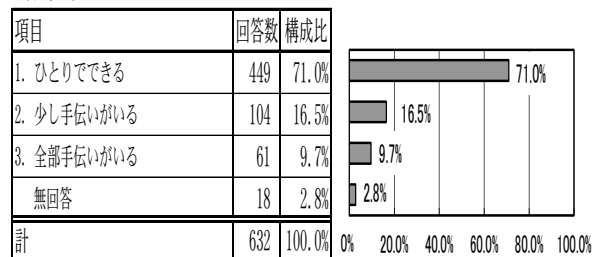


問7 あなたは、次のことをひとりでできますか。それぞれの項目について、お答えください。
(SA)

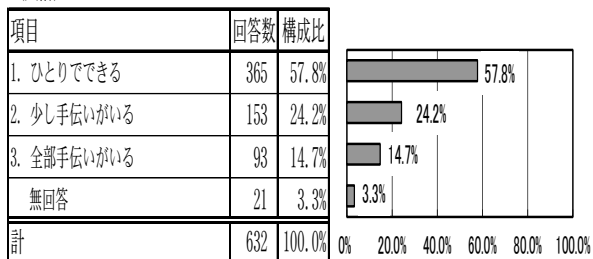
(食事)



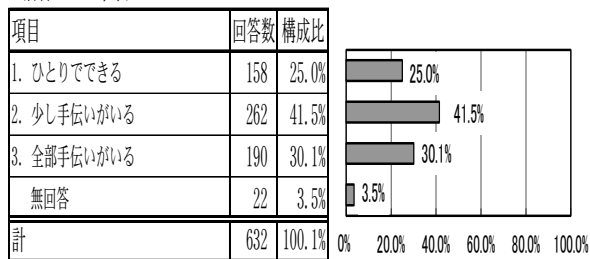
(トイレ)



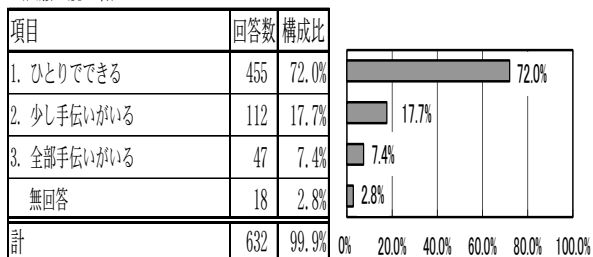
(入浴)



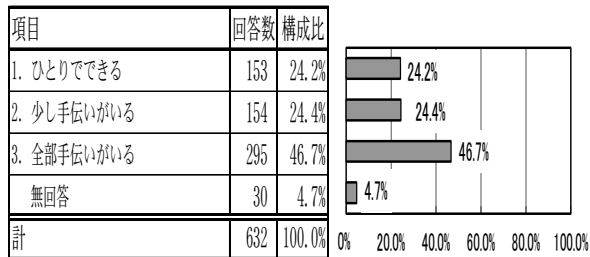
(掃除などの家事)



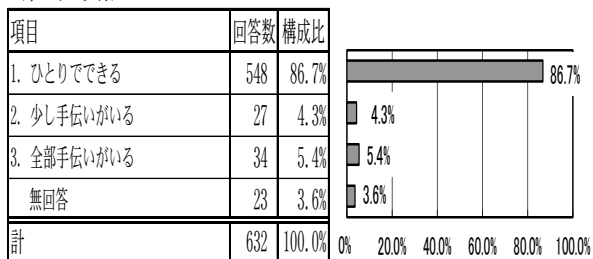
(衣服の脱ぎ着)



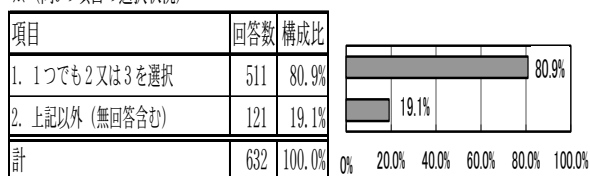
(通院などの外出)



(家の中の歩行)



※ (問9の項目の選択状況)

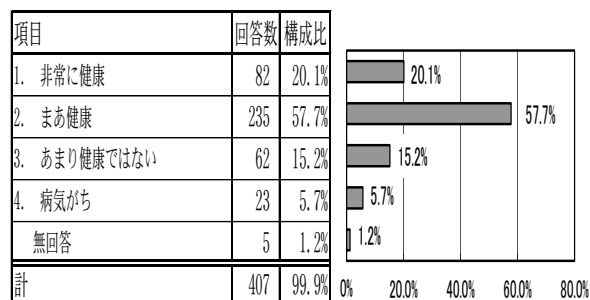
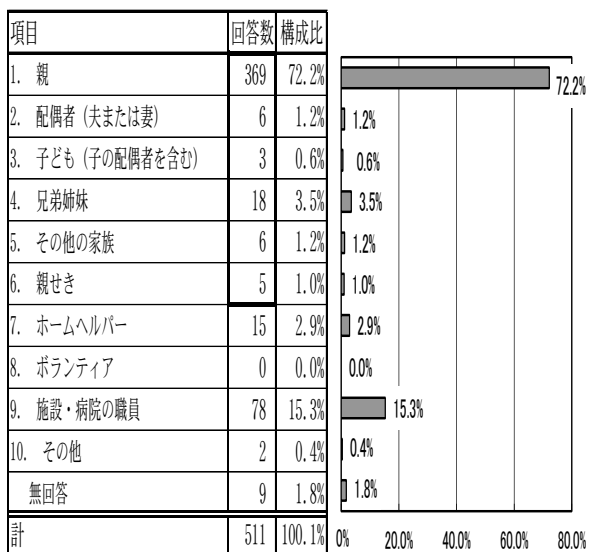


【問7で1つでも、2または3を選択した場合に、お答えください。】

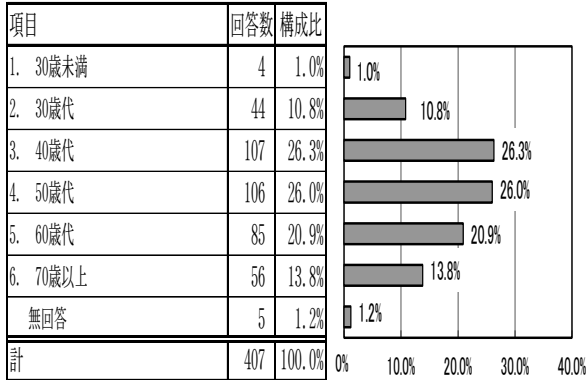
問7-1 主な介助者の方は、どなたですか。
(SA)

【問7-1で1から6までを選択した場合に、お答えください。】

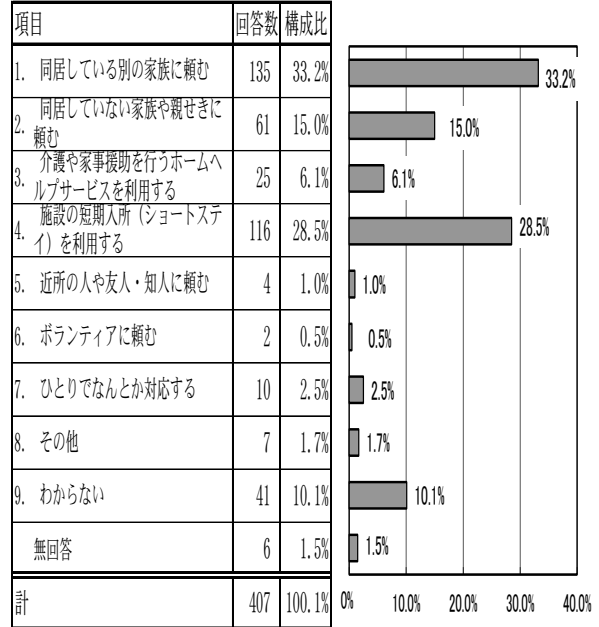
問7-2 主な介助者の方の健康状態は、いかがですか。
(SA)



問7-3 主な介助者の方の年齢は、何歳ですか。
(SA)

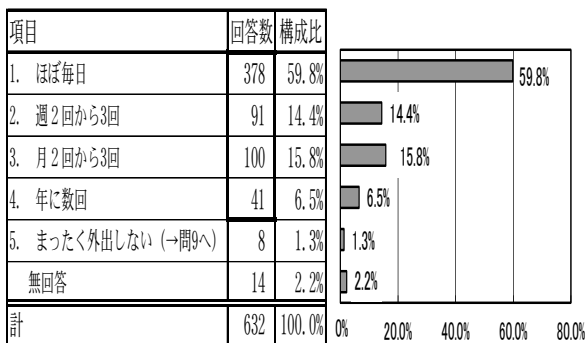


問7-4 主な介助者の方が急病・事故・出産などで介助できなくなった場合に、どのようにしたいですか。
(SA)



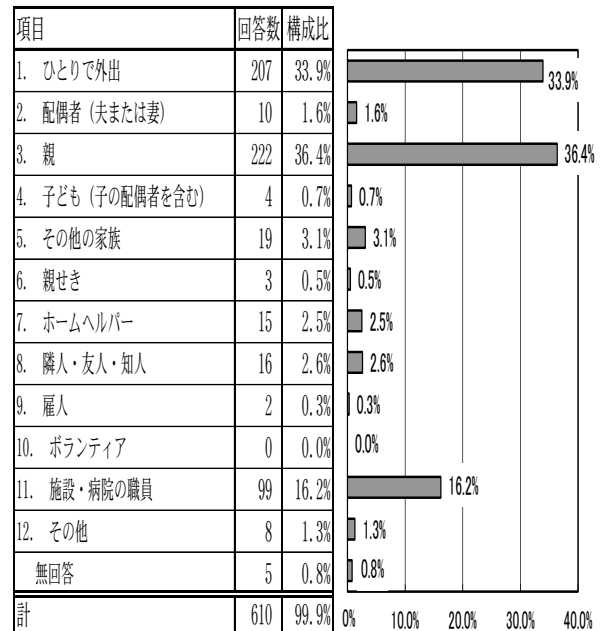
■あなたの外出状況について、おたずねします。

問8 あなたは、過去1年間にどのくらい外出しましたか。
(SA)

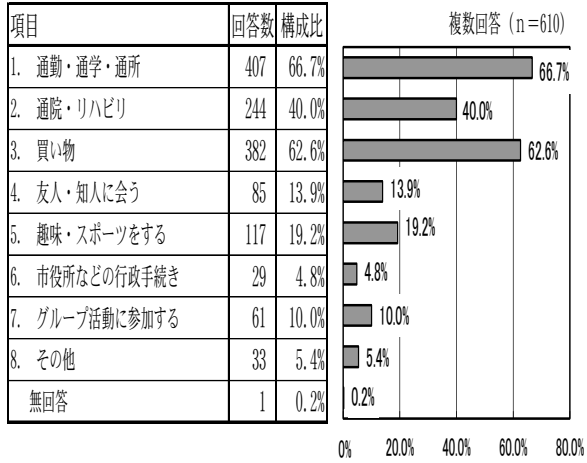


【問8で、1から4までを選択した場合に、お答えください。】

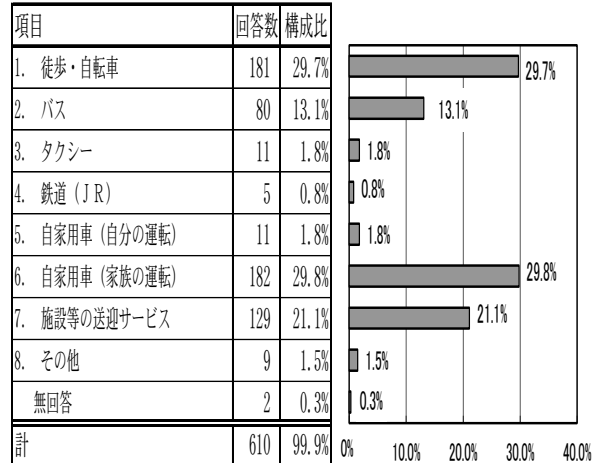
問8-1 主に誰と一緒に外出しましたか。
(SA)



問8-2 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(MA)

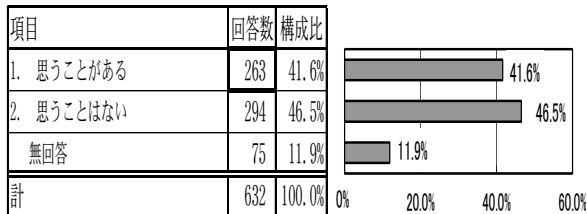


問8-3 主な外出の手段を、お答えください。
(SA)

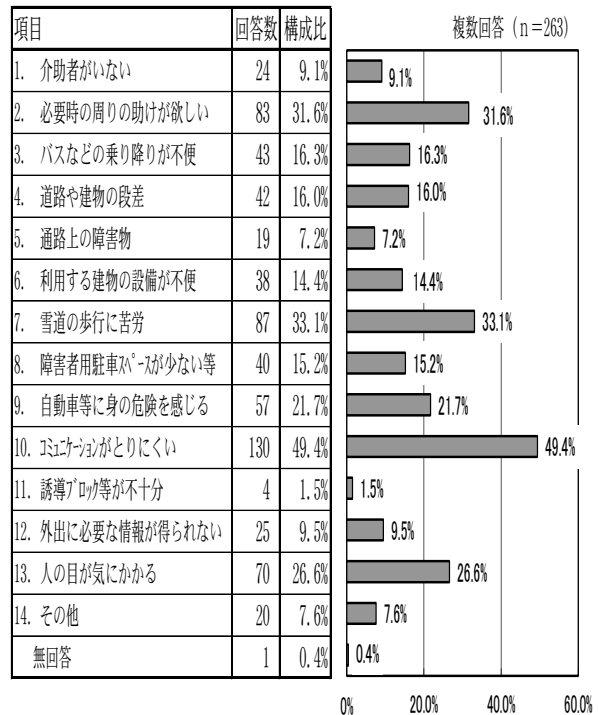


【問9で1を選択した場合に、お答えください。】

問9 あなたは、外出する上で困ることや不満に思うことがありますか。
(SA)

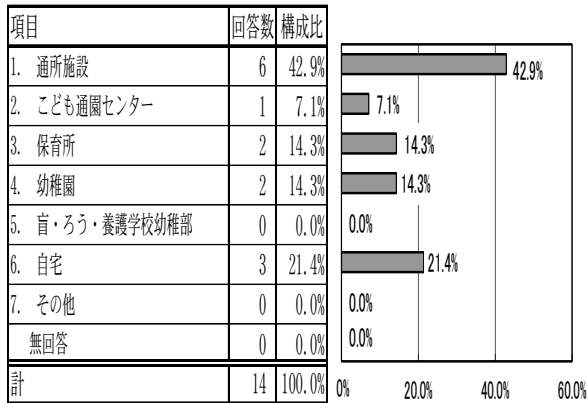


問9-1 困ることや不満に思うことは、何ですか。
(MA)



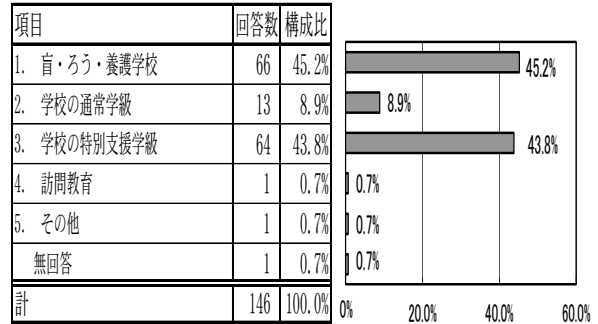
■小学校入学前の方に、おたずねします。

問10 あなたは、日中を主にどこで過ごしていますか。
(SA)



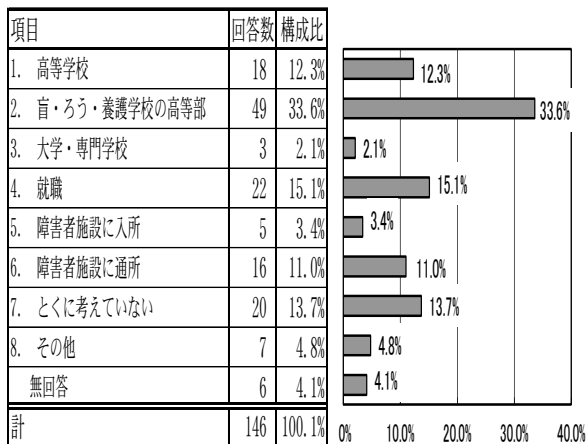
■小・中・高校生の方に、おたずねします。

問11 あなたの通学先は、どこですか。
(SA)

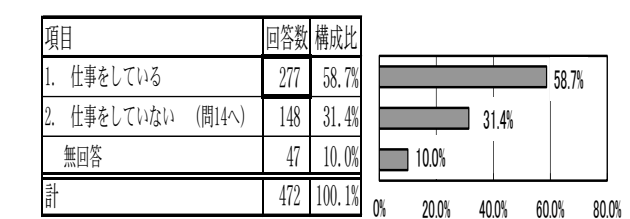


■学校を卒業した方に仕事について、おたずねします。

問12 あなたは、現在の学校を卒業した後の進路を、どのように考えていますか。
(SA)

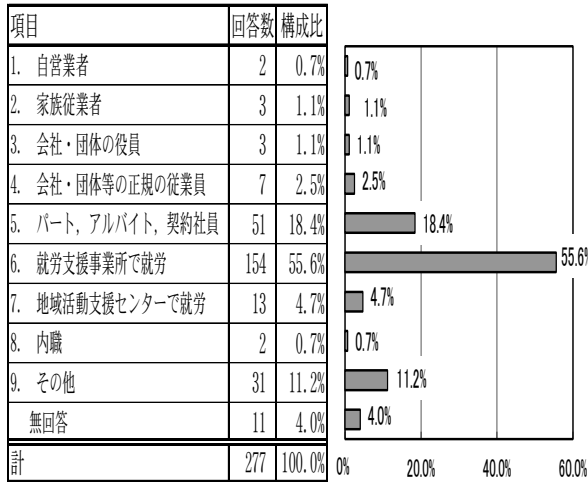


問13 あなたは、現在仕事をしていますか。
(SA)



問13-1 どのような形で仕事をしていますか。

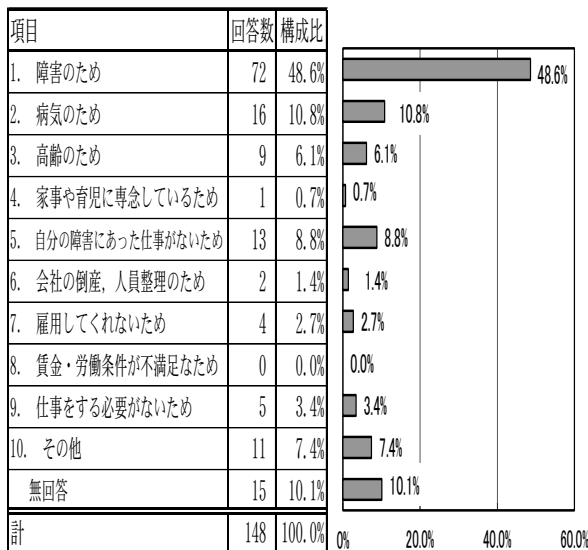
(SA)



【問13で2を選択した場合に、お答えください。】

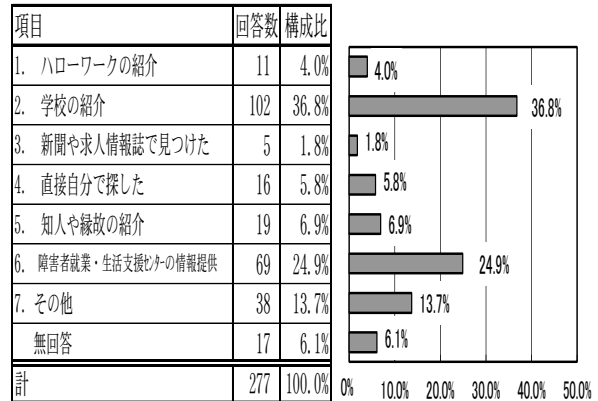
問14 仕事をしていない主な理由は、何ですか。

(SA)



問13-2 現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。

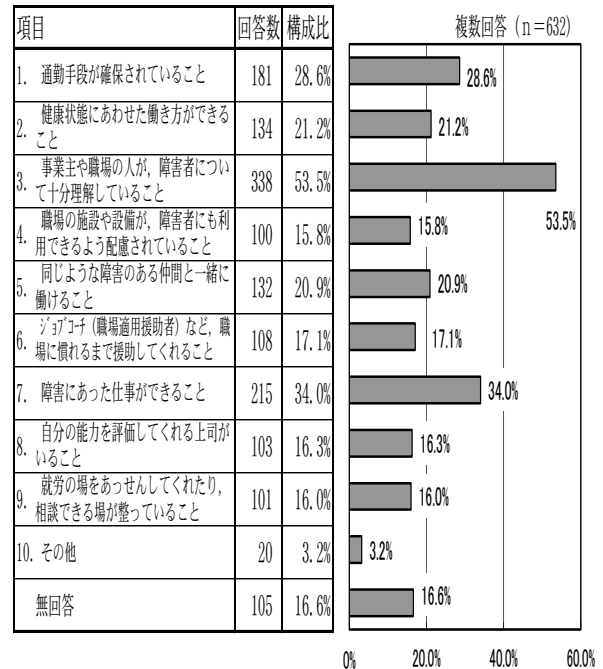
(SA)



【すべての方にお聞きします。】

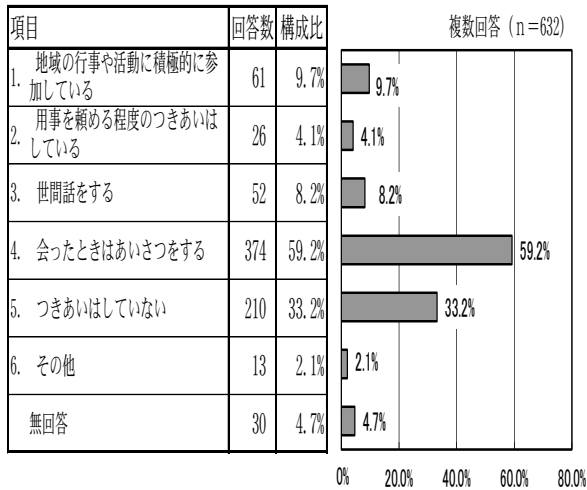
問15 障害のある方が働くために、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。

(3LA)

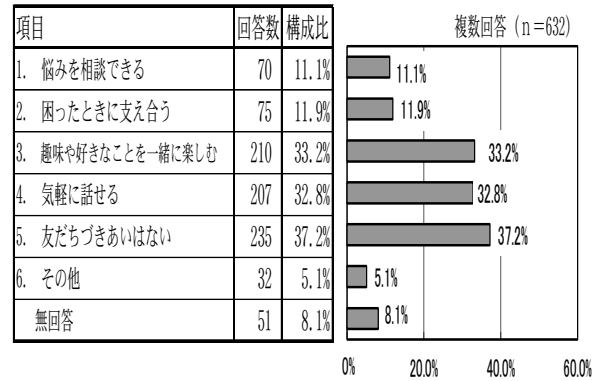


■地域生活について、おたずねします。

問16 地域・近隣の方とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)

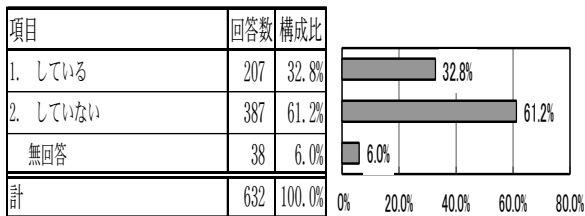


問17 友達とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)

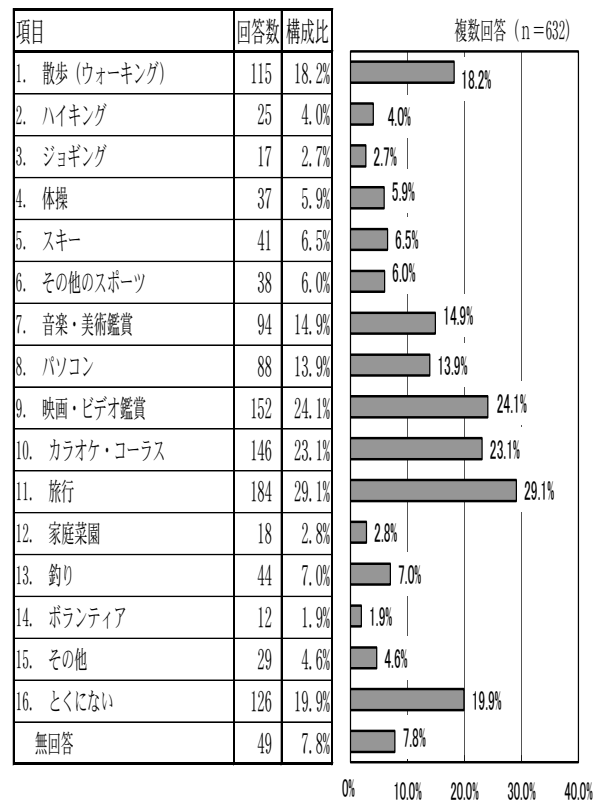


■余暇活動について、おたずねします。

問18 あなたは、現在スポーツやレクリエーション等をしていますか。している場合は、その内容を具体的に教えてください。
(SA)



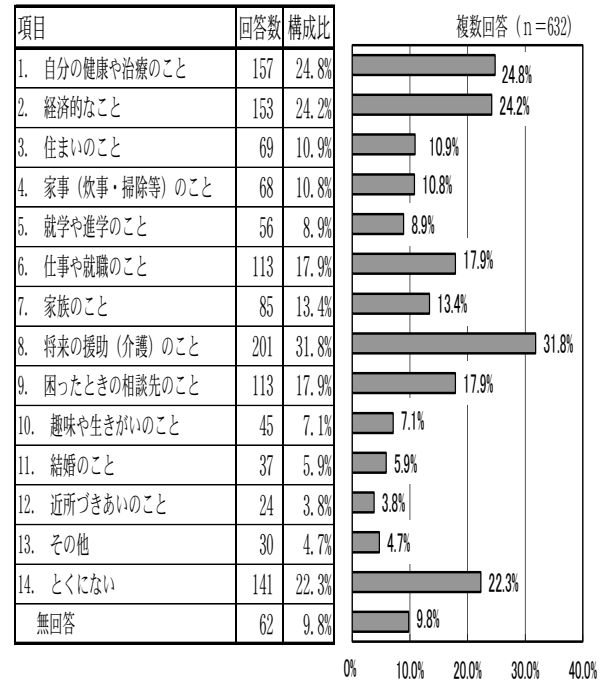
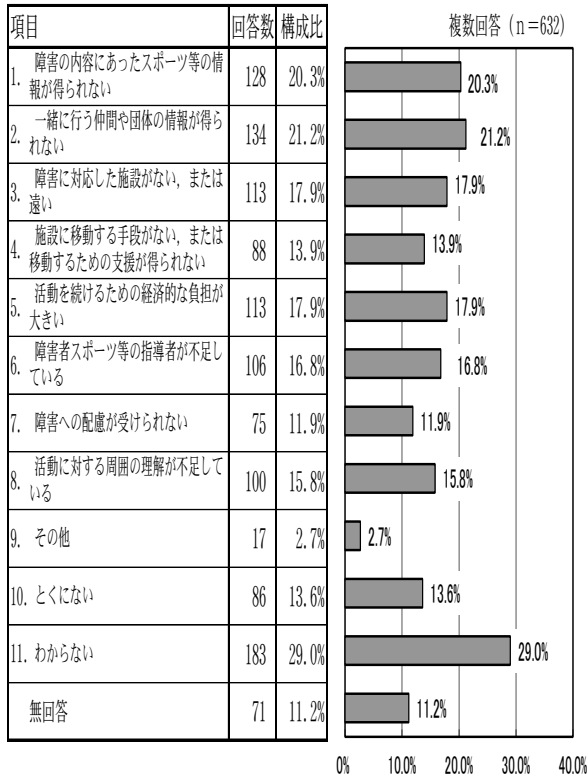
問19 あなたは、今後やってみたいスポーツやレクリエーション等がありますか。
(3LA)



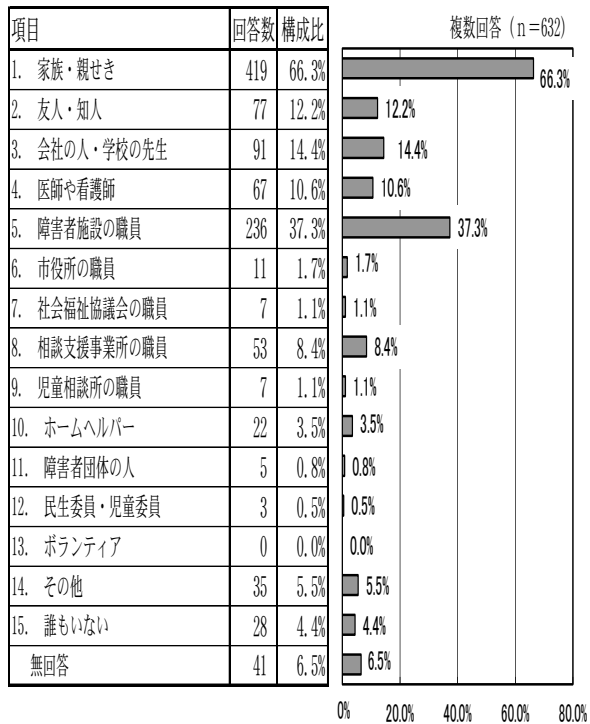
■相談ごとや情報の入手について、おたずねします。

問20 障害のある方のスポーツやレクリエーション活動を推進するためには、現在どのような課題があると思いますか。

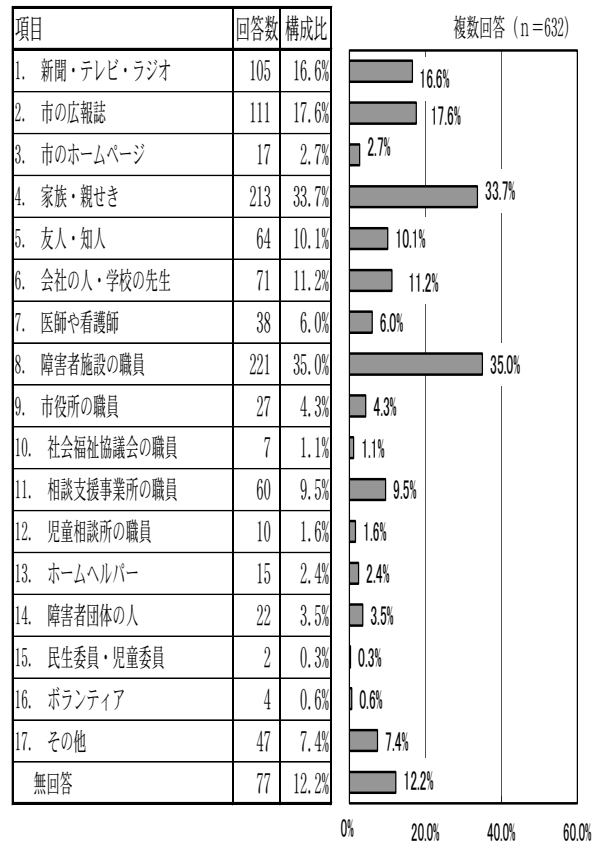
問21 あなたは現在、悩んでいることや不安なことはありますか。



問22 あなたは、悩みごとや心配ごとを誰に相談しますか。
(3LA)

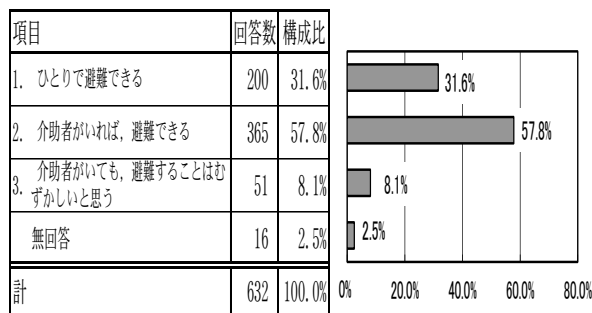


問23 あなたは、障害のことや福祉サービスの情報を、どこから入手していますか。
(3LA)



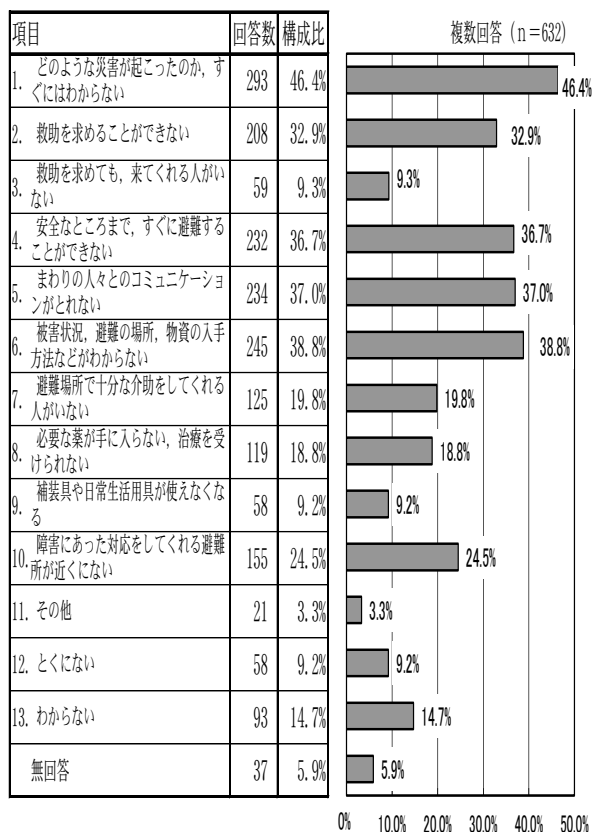
■災害時のことについて、おたずねします。

問24 あなたは、地震や洪水などの災害が発生した場合に、ひとりで避難できますか。
(SA)

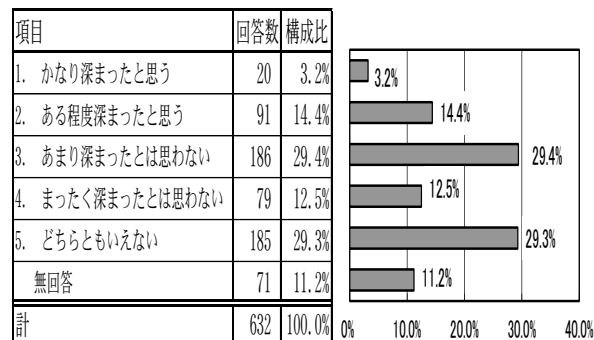


■障害に対する正しい理解の促進について、おたずねします。

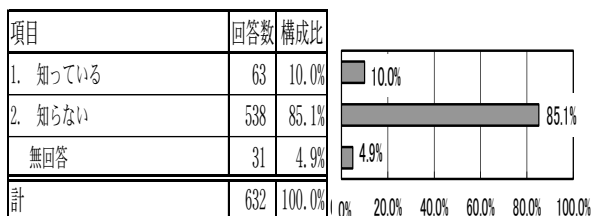
問25 あなたが地震や台風などの災害時に困ると思われることは、何ですか。
(MA)



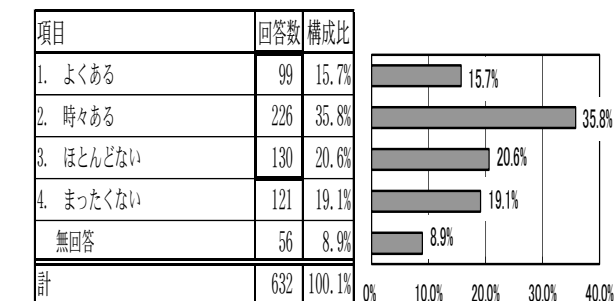
問26 あなたは、障害のある方に対する市民の理解について、どのように感じていますか。
(SA)



問27 あなたは、平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されることを、知っていましたか。
(SA)

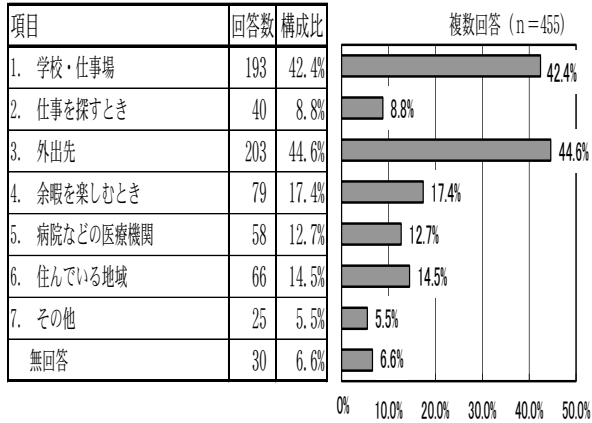


問28 あなたは、障害を理由として、差別を受けたと思ったこと、悲しく嫌な思いをしたことがありますか。
(SA)

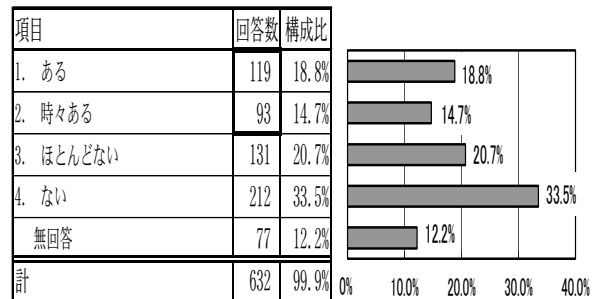


【問28で、1から3までを選択した場合に、お答えください。】

問28-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。
(MA)

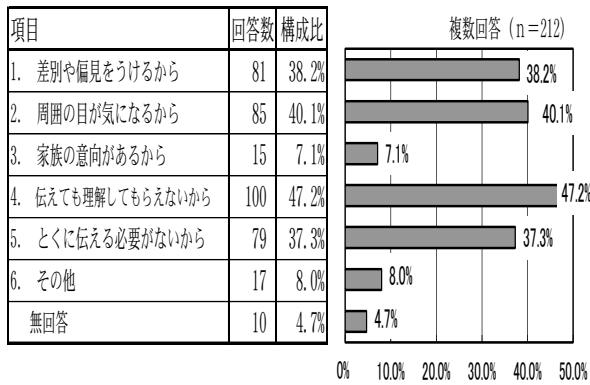


問29 あなたは、障害のために支援を受けたいような場合でも、知的障害があることを、周りの人に伝えなかったことがありますか。
(SA)

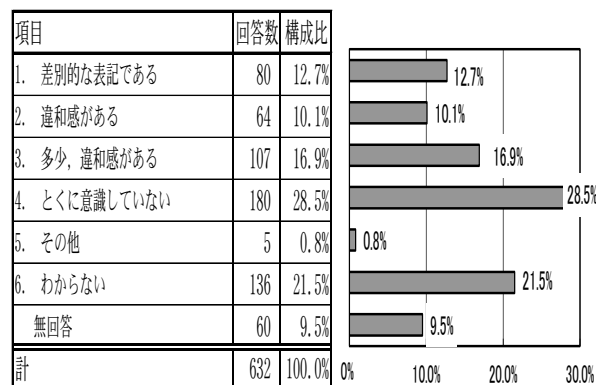


【問29で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

問29-1 知的障害があることを伝えなかった(または伝えられなかった)理由には、どのようなものがありますか。
(MA)



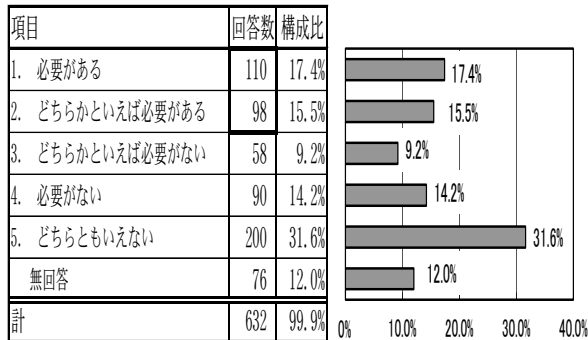
問30 あなたは、「障害者」という表記に、どのような思いがありますか。
(SA)



問31

(SA)

北海道や札幌市は、「障害者」の表記を「障がい者」としています。あなたは、旭川市において「障害者」という表記の一部または全部を変更する必要があると思いますか。

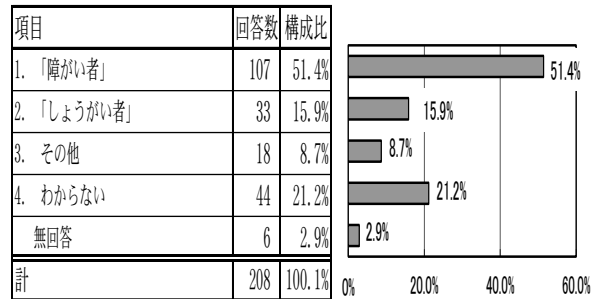


【問31で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

問31-1

(SA)

「障害者」に代わる表記として、どのような表記が良いと思いますか。

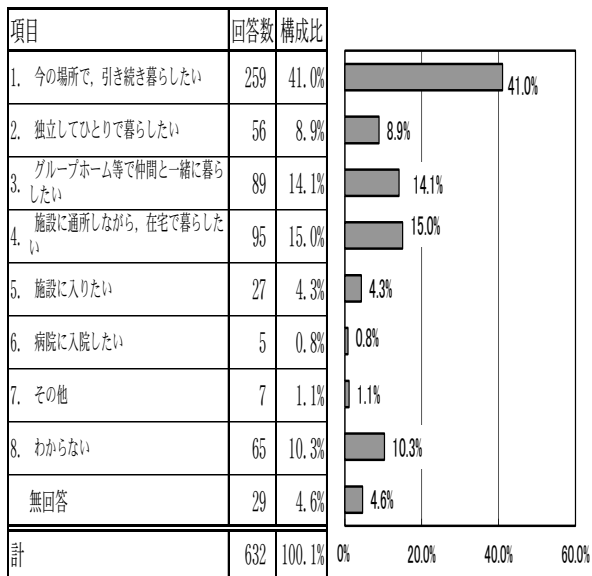


■将来のことや障害者施策への要望について、おたずねします。

問32

(SA)

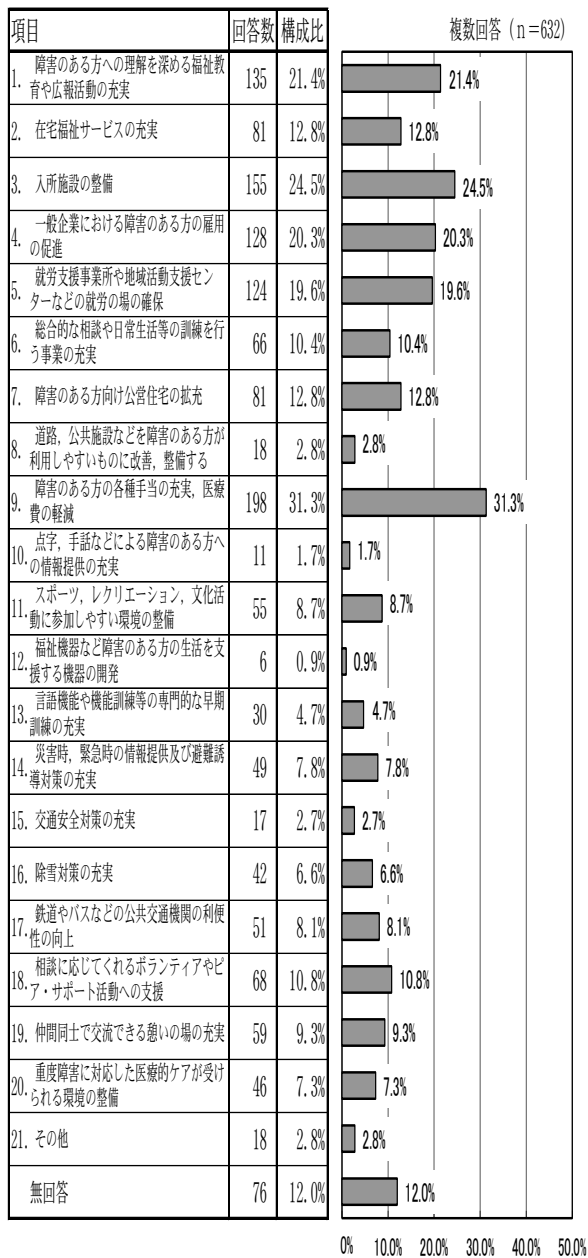
あなたは、今後どのように暮らしたいですか。



問33

(31A)

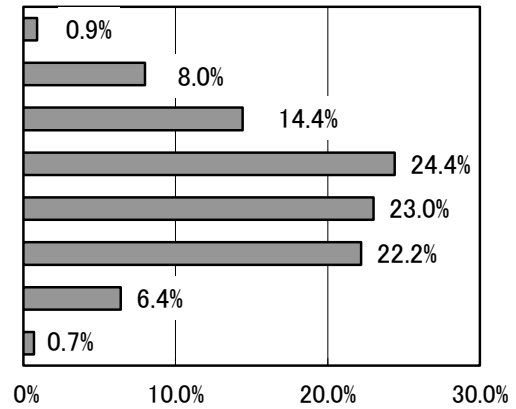
あなたは、今後、障害のある方への施策について、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



4 精神障害者保健福祉手帳所持者：調査票C

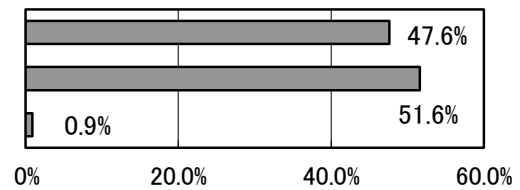
(1) 年齢階層

項目	回答数	構成比
19歳以下	6	0.9%
20～29歳	54	8.0%
30～39歳	97	14.4%
40～49歳	165	24.4%
50～59歳	155	23.0%
60～69歳	150	22.2%
70歳以上	43	6.4%
無回答	5	0.7%
計	675	100.0%



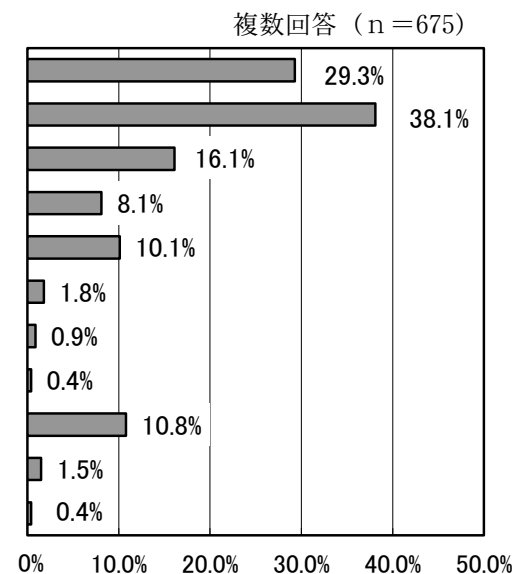
(2) 性別

項目	回答数	構成比
男性	321	47.6%
女性	348	51.6%
無回答	6	0.9%
計	675	100.0%



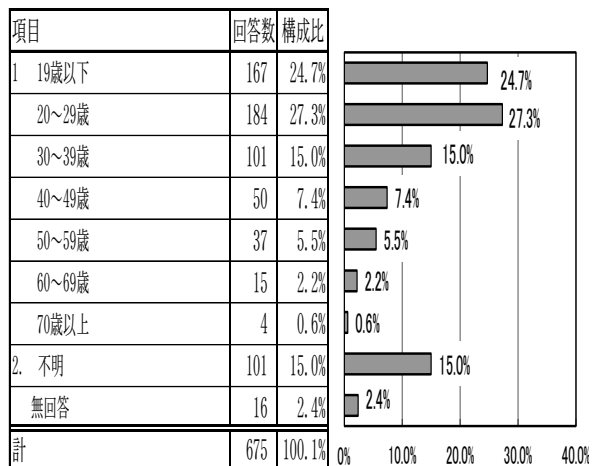
(3) 家族構成 (MA)

項目	回答数	構成比
ひとりで	198	29.3%
親	257	38.1%
配偶者 (夫または妻)	109	16.1%
子ども	55	8.1%
兄弟姉妹	68	10.1%
祖父母	12	1.8%
その他の親族	6	0.9%
知人・友人	3	0.4%
施設・グループホーム等	73	10.8%
その他	10	1.5%
無回答	3	0.4%

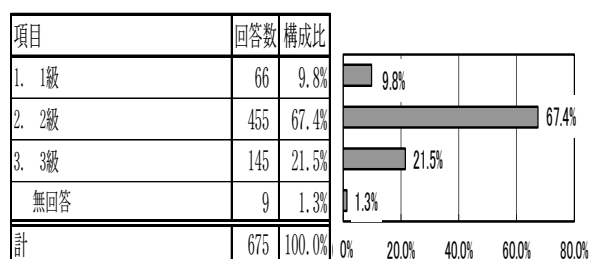


■あなたの障害の状態などについて、おたずねします。

問4 あなたの障害が発生（判明）した時期は、何歳ごろですか。
(SA)

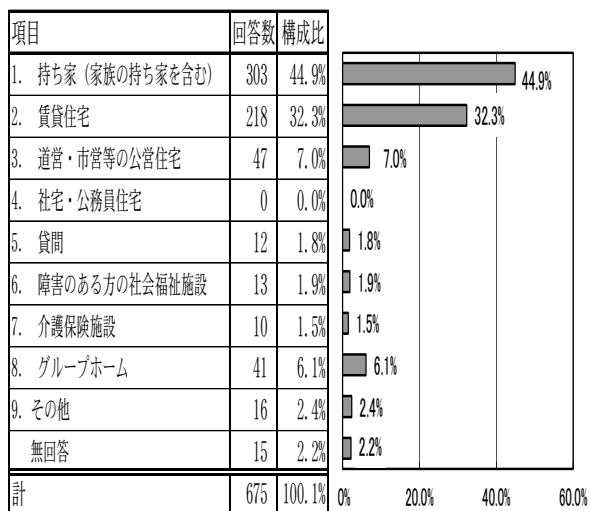


問5 精神障害者保健福祉手帳の等級は、何級ですか。
(SA)

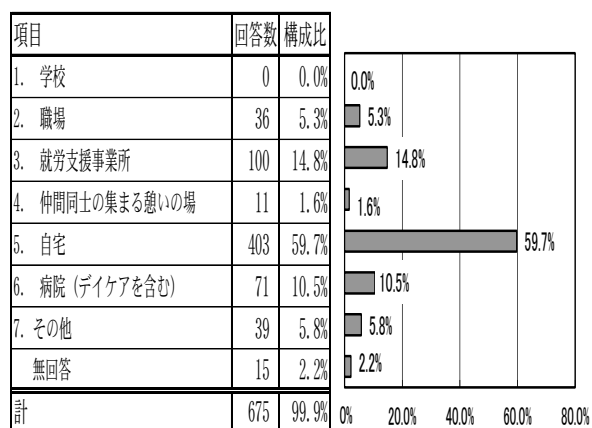


■あなたの生活状況について、おたずねします。

問6 あなたのお住まいを、お答えください。病院に入院中の方は、入院前のお住まいを選んでください。
(SA)

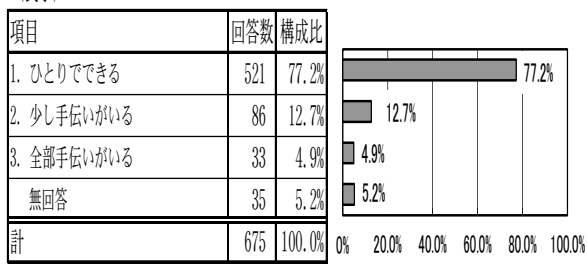


問7 あなたは日中、主にどこで過ごしていますか。
(SA)

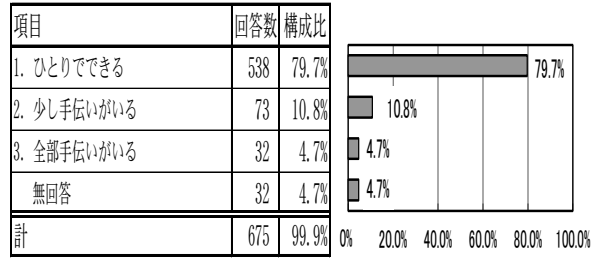


問8 あなたは、次のことをひとりでできますか。それぞれの項目について、お答えください。
(SA)

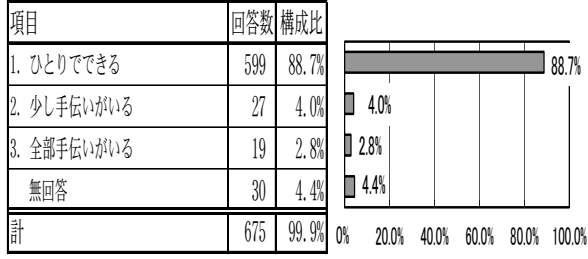
(食事)



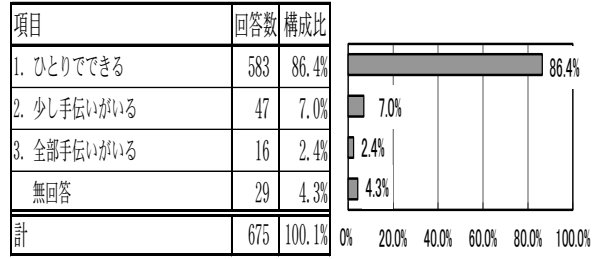
(入浴)



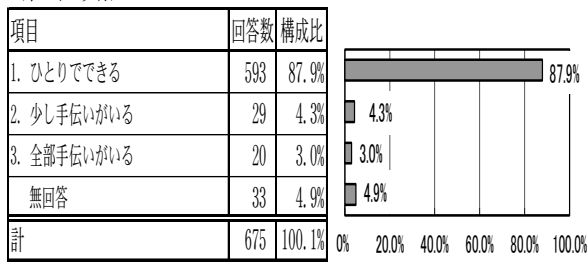
(トイレ)



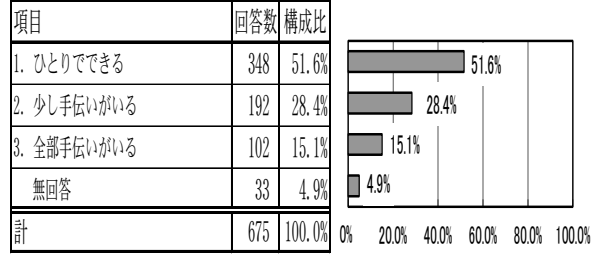
(衣服の脱ぎ着)



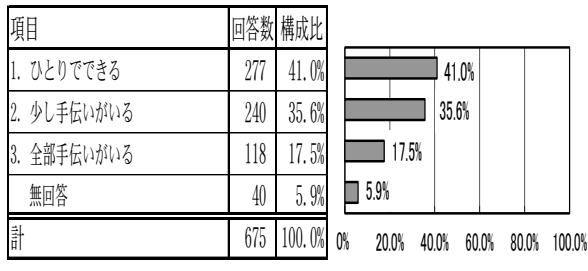
(家の中の歩行)



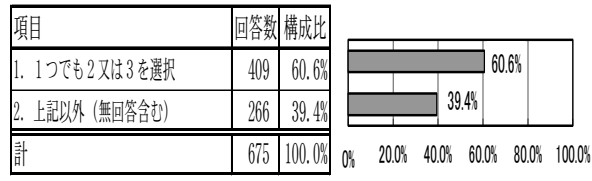
(通院などの外出)



(掃除などの家事)



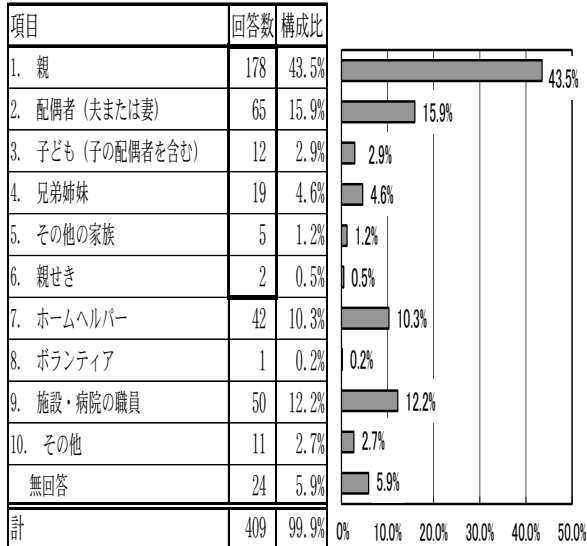
※ (問8の項目の選択状況)



【問8で1つでも、2または3を選択した場合に、お答えください。】

問8-1 主な介助者の方は、どなたですか。

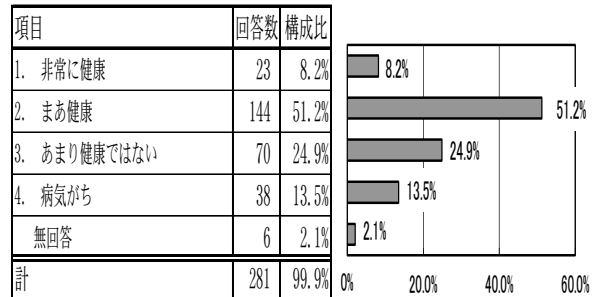
(SA)



【問8-1で1から6までを選択した場合に、お答えください。】

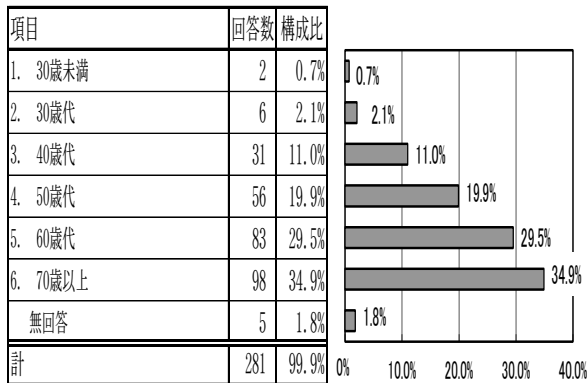
問8-2 主な介助者の方の健康状態は、いかがですか。

(SA)



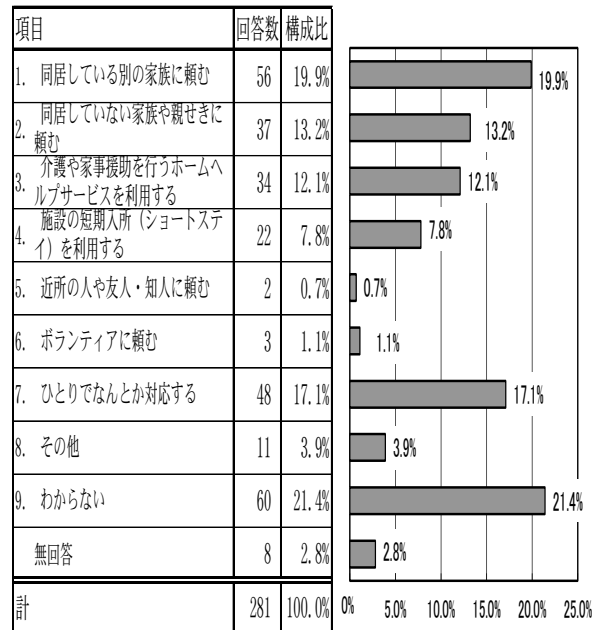
問8-3 主な介助者の方の年齢は、何歳ですか。

(SA)



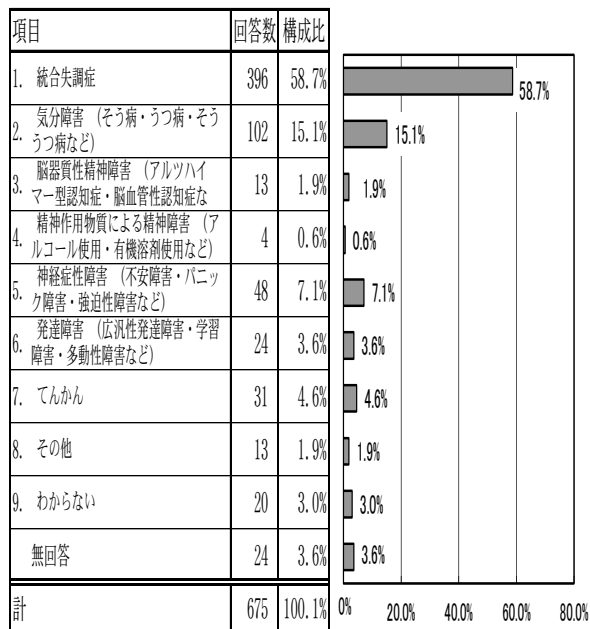
問8-4 主な介助者の方が急病・事故・出産などで介助できなくなった場合に、どのようにしたいですか。

(SA)



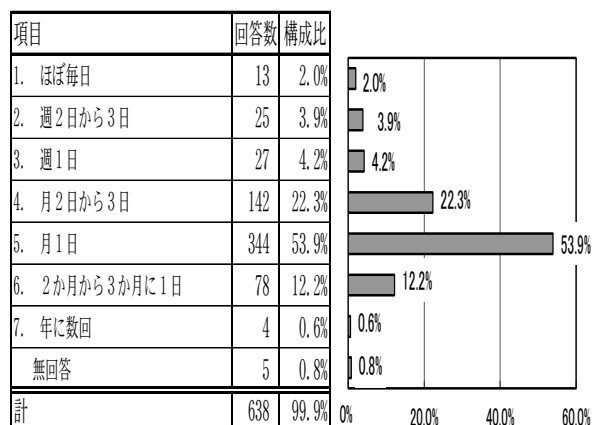
■病気や医療のことについて、おたずねします。

問9 あなたの病名（複数ある場合は、主なもの）は、次のうちの病気ですか。
(SA)

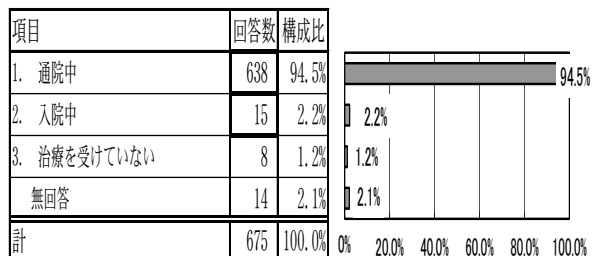


【問10で1を選択した場合に、お答えください。】

問10-1 通院日数は、どのくらいですか。
(SA)

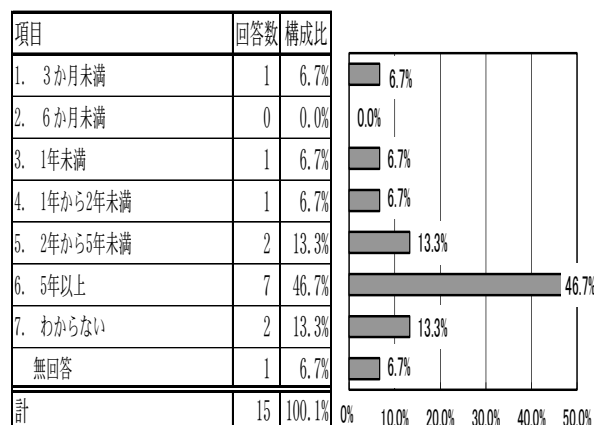


問10 あなたは、現在、精神科（神経内科・心療内科等）で治療を受けていますか。
(SA)



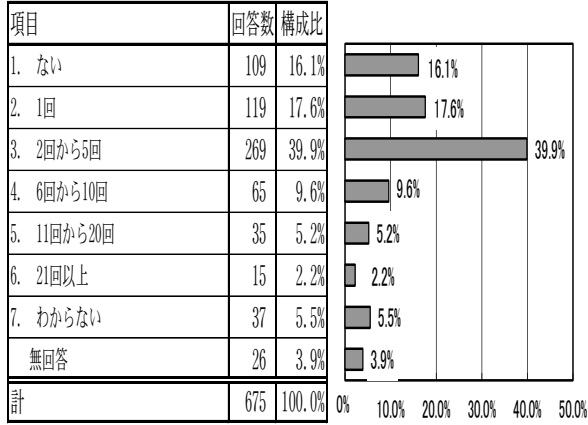
【問10で2を選択した場合に、お答えください。】

問10-2 今回の入院期間は、どのくらいですか。
(SA)

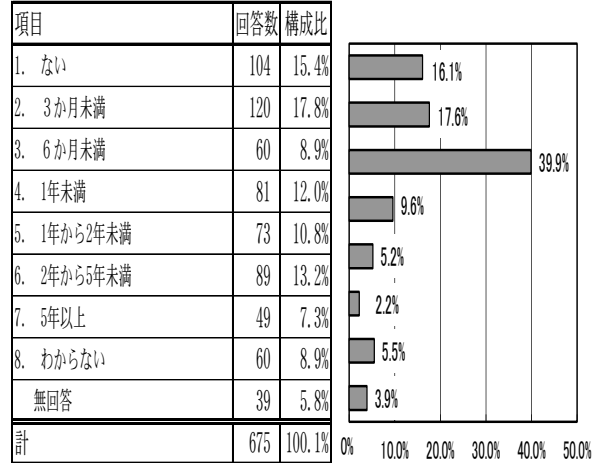


【すべての方にお聞きします。】

問11 これまでの入院回数を、お答えください。
(SA)

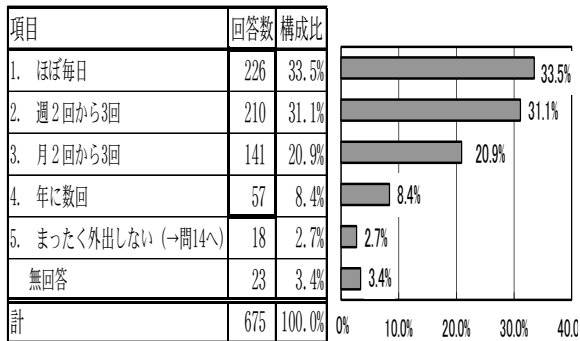


問12 これまでの入院期間を、合計すると、どのくらいの期間になりますか。
(SA)



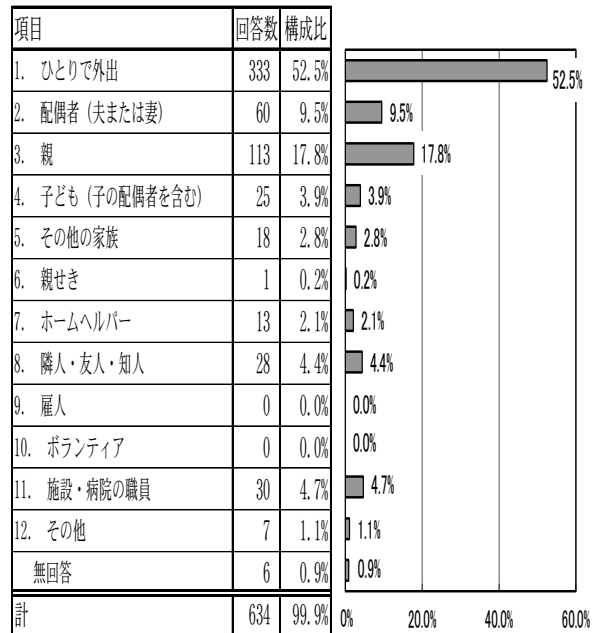
■あなたの外出状況について、おたずねします。

問13 あなたは、過去1年間にどのくらい外出しましたか。
(SA)



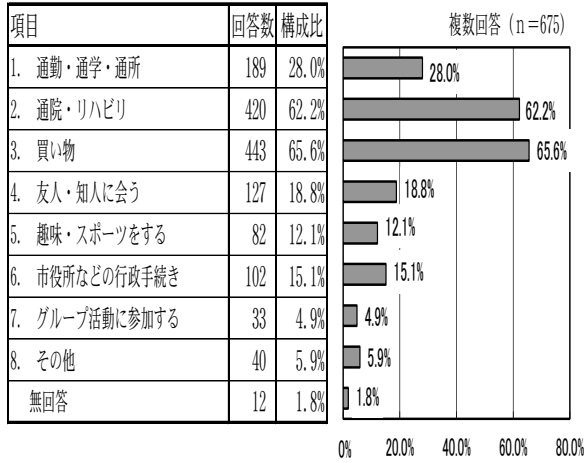
【問13で、1から4までを選択した場合に、お答えください。】

問13-1 主に誰と一緒に外出しましたか。
(SA)



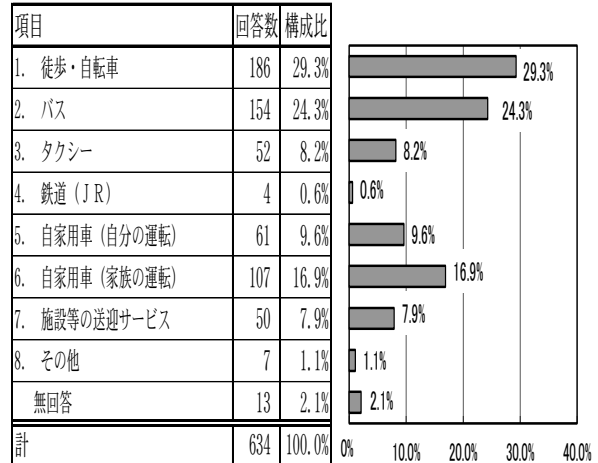
問13-2 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(MA)



問13-3 主な外出の手段を、お答えください。

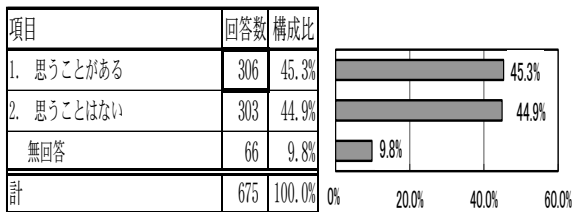
(SA)



【問14で1を選択した場合に、お答えください。】

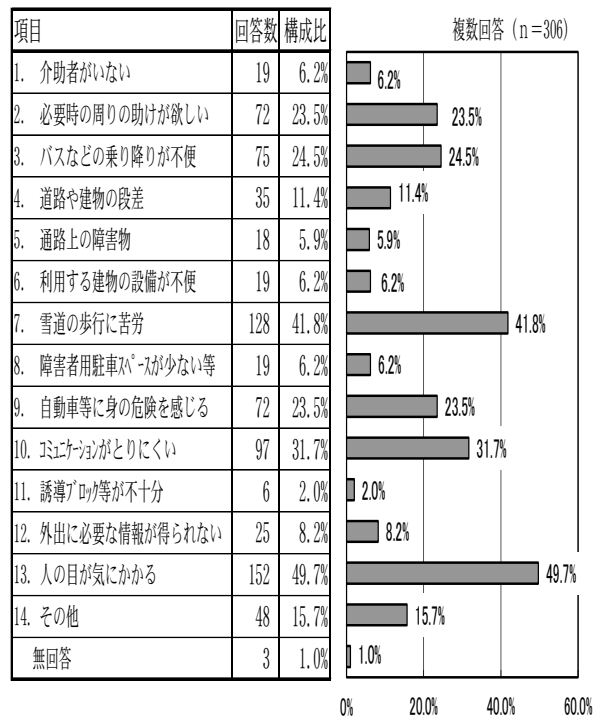
問14 あなたは、外出する上で困ることや不満に思うことがありますか。

(SA)



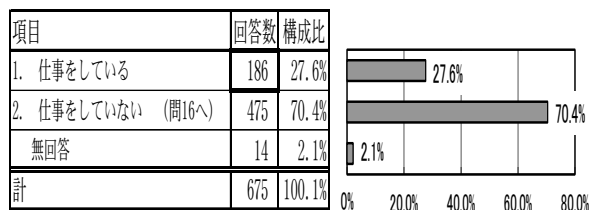
問14-1 困ることや不満に思うことは、何ですか。

(MA)



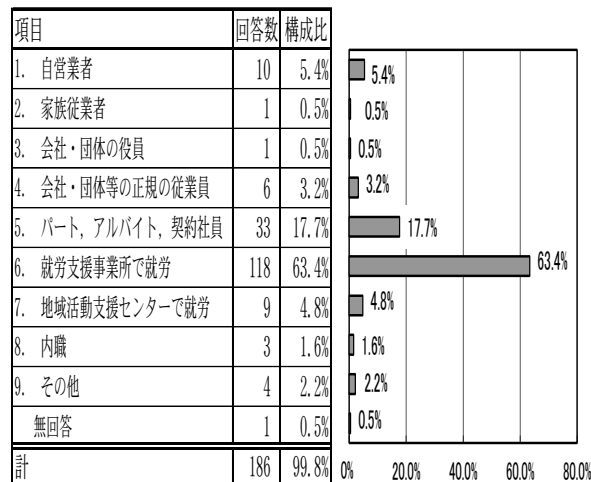
■仕事について、おたずねします。

問15 あなたは、現在仕事をしていますか。
(SA)



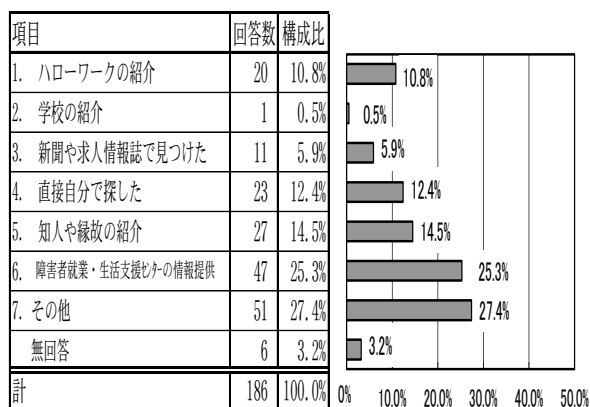
【問15で1を選択した場合に、お答えください。】

問15-1 どのような形で仕事をしていますか。
(SA)

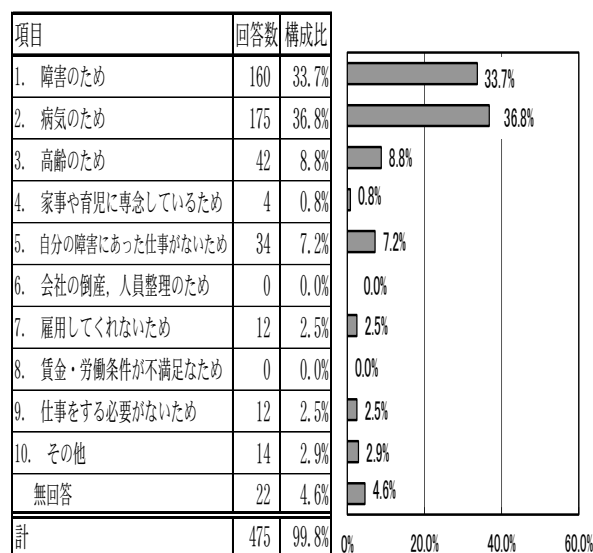


【問15で2を選択した場合に、お答えください。】

問15-2 現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。
(SA)



問16 仕事をしていない主な理由は、何ですか。
(SA)

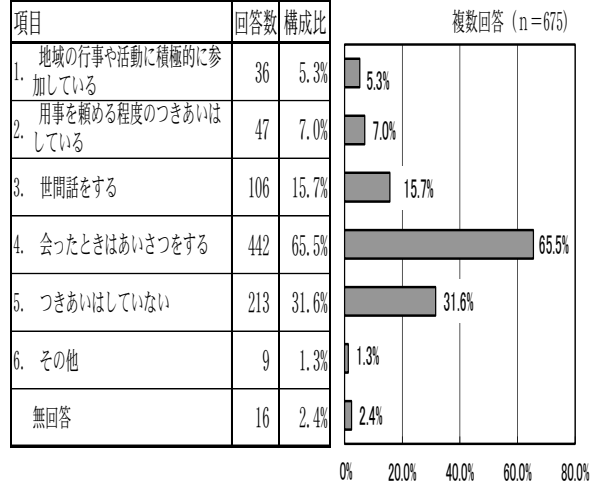
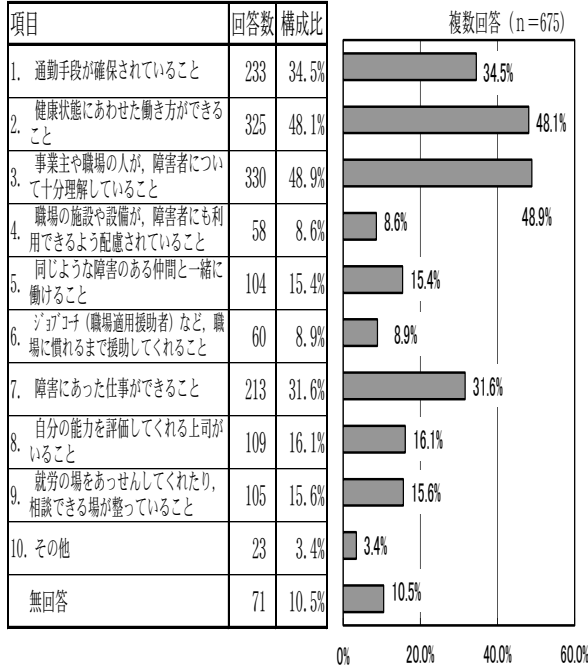


【すべての方にお聞きします。】

■地域生活について、おたずねします。

問17 障害のある方が働くために、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(3LA)

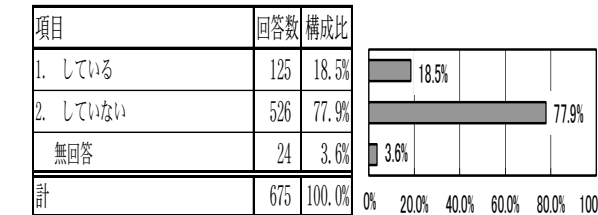
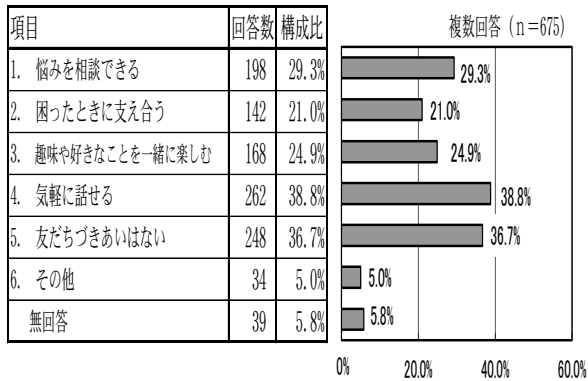
問18 地域・近隣の方とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)



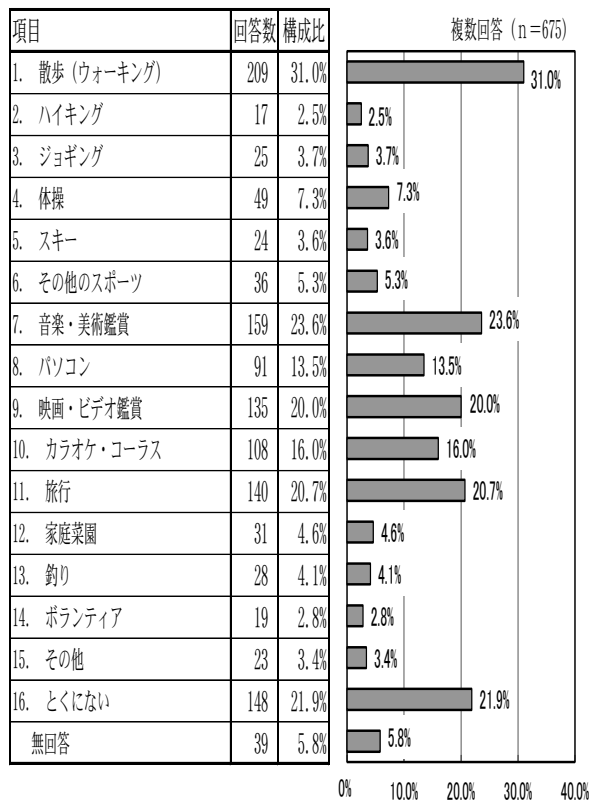
■余暇活動について、おたずねします。

問19 友達とは、どのようなおつきあいをしていますか。
(MA)

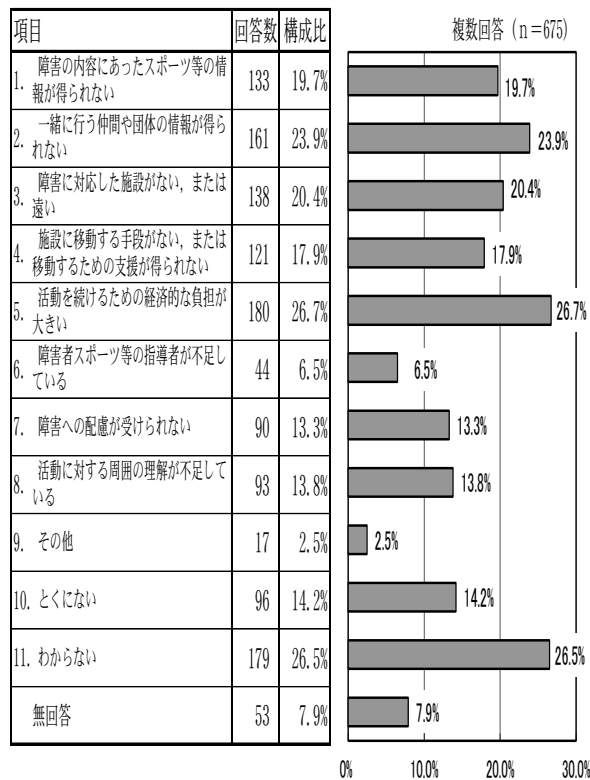
問20 あなたは、現在スポーツやレクリエーション等をしていますか。している場合は、その内容を具体的に教えてください。
(SA)



問21 あなたは、今後やってみたいスポーツやレクリエーション等がありますか。
(3LA)

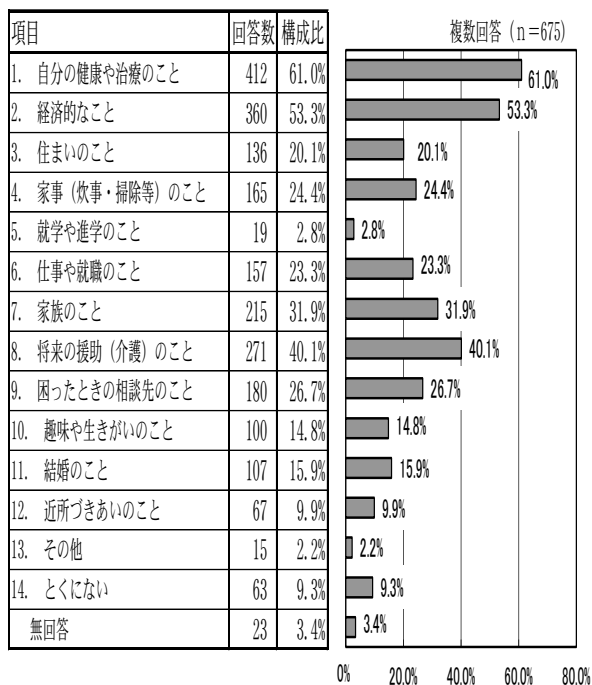


問22 障害のある方のスポーツやレクリエーション活動を推進するためには、現在どのような課題があると思いますか。
(MA)

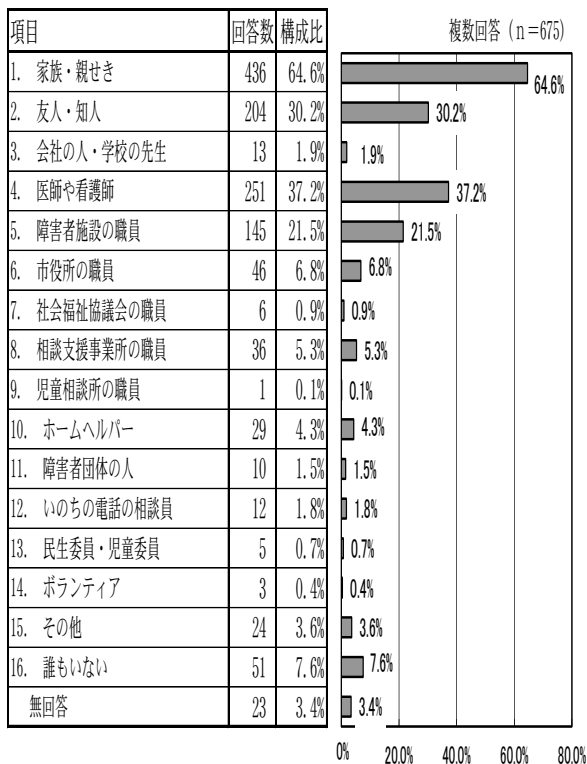


■相談ごとや情報の入手について、おたずねします。

問23 あなたは現在、悩んでいることや不安なことはありますか。
(MA)



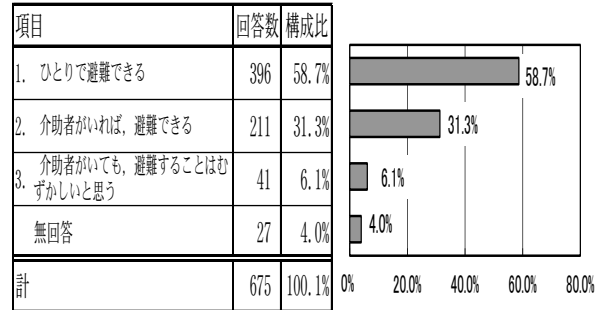
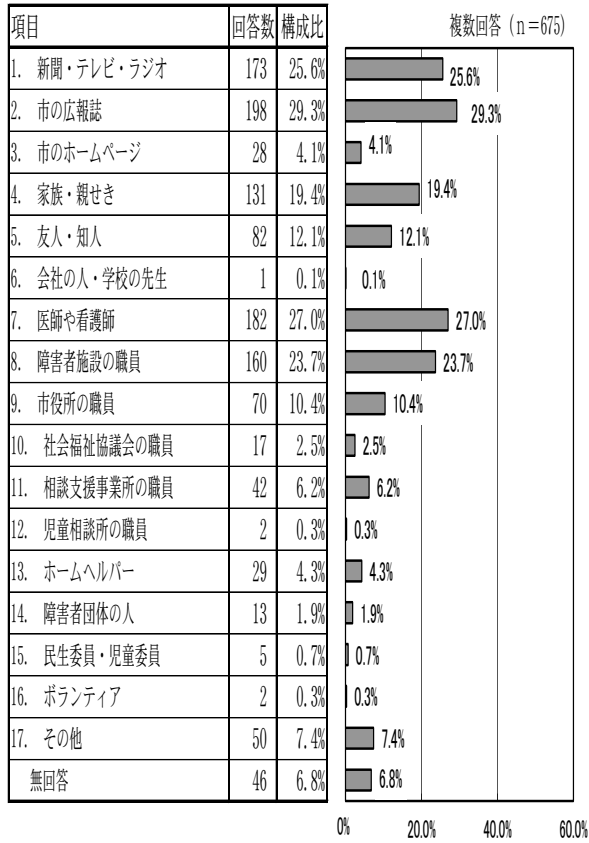
問24 あなたは、悩みごとや心配ごとを誰に相談しますか。
(3LA)



■災害時のことについて、おたずねします。

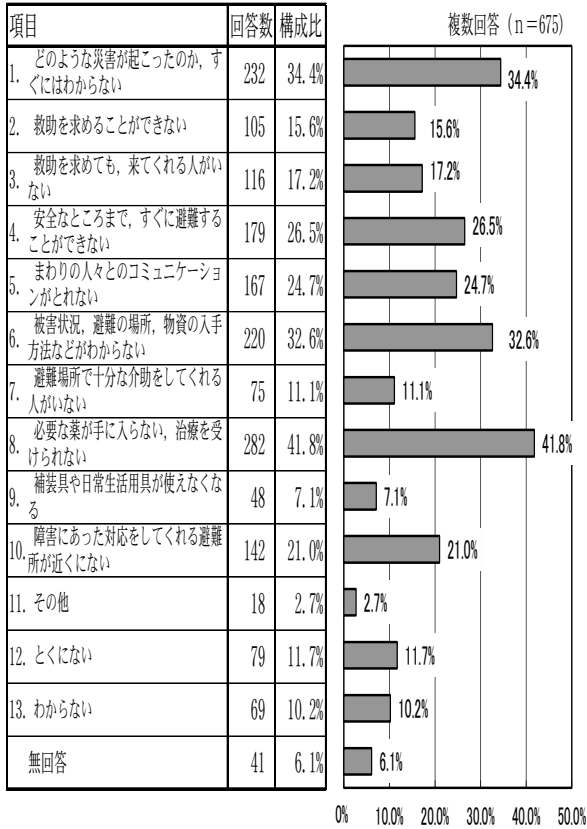
問25 あなたは、障害のことや福祉サービスの情報を、どこから入手していますか。
(3LA)

問26 あなたは、地震や洪水などの災害が発生した場合に、ひとりで避難できますか。
(SA)

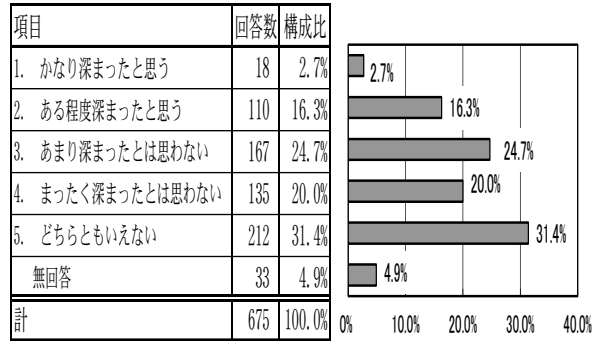


■障害に対する正しい理解の促進について、おたずねします。

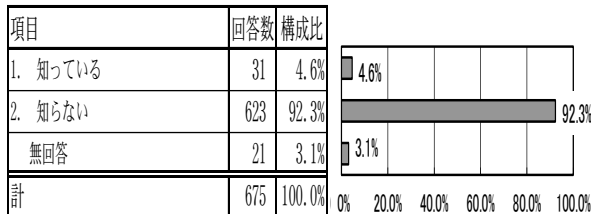
問27 あなたが地震や台風などの災害時に困ると思われることは、何ですか。
(MA)



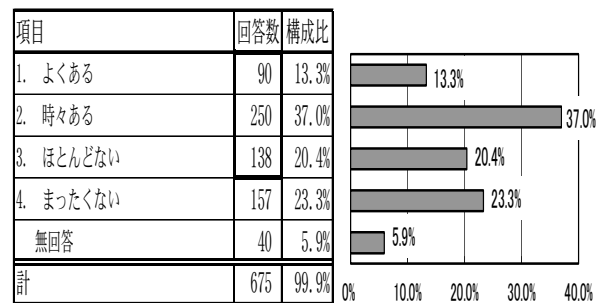
問28 あなたは、障害のある方に対する市民の理解について、どのように感じていますか。
(SA)



問29 あなたは、平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されることを、知っていましたか。
(SA)

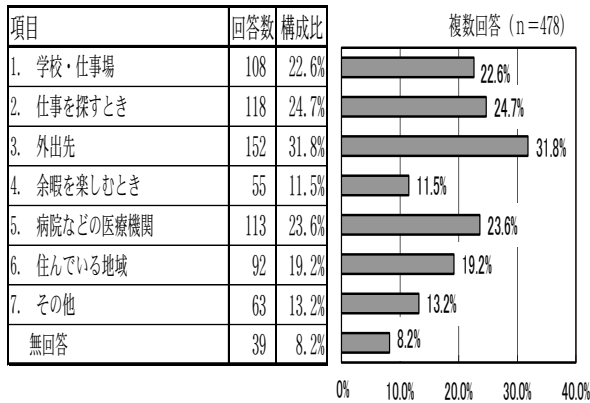


問30 あなたは、障害を理由として、差別を受けたと思ったこと、悲しく嫌な思いをしたことがありますか。
(SA)

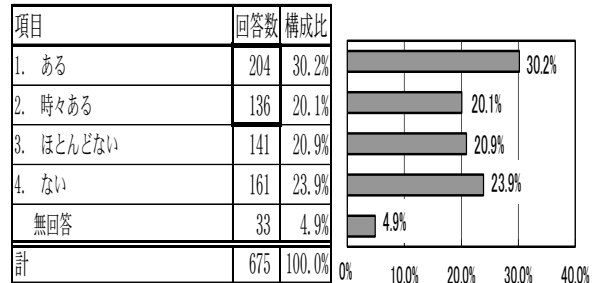


【問30で、1から3までを選択した場合に、お答えください。】

問30-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。
(MA)

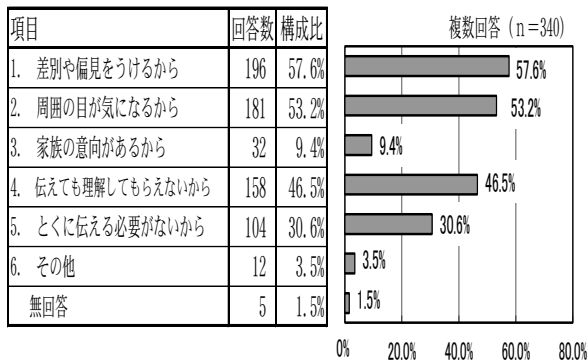


問31 あなたは、障害のために支援を受けたいような場合でも、精神障害者保健福祉手帳を持っていることや、病気等のことを、周りの人に伝えない場合がありますか。

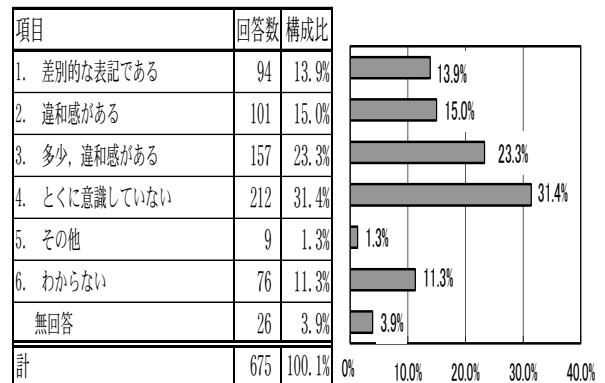


【問31で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

問31-1 精神障害者保健福祉手帳を持っていることや、病気等があることを伝えなかった(または伝えられなかった)理由には、どのようなものがありますか。



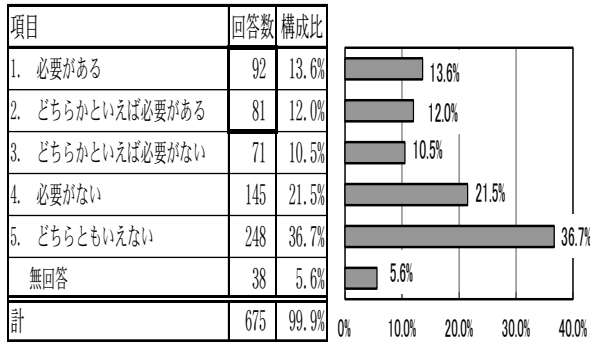
問32 あなたは、「障害者」という表記に、どのような思いがありますか。



【問33で、1または2を選択した場合に、お答えください。】

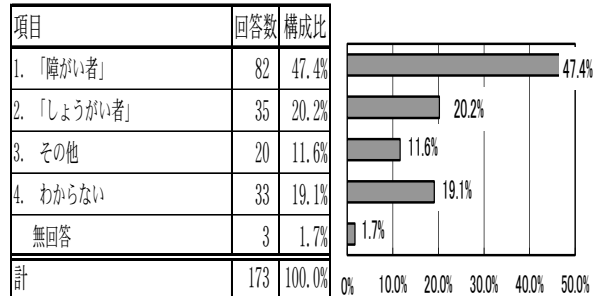
問33 北海道や札幌市は、「障害者」の表記を「障がい者」としています。あなたは、旭川市において「障害者」という表記の一部または全部を変更する必要があると思いますか。

(SA)



問33-1 「障害者」に代わる表記として、どのような表記が良いと思いますか。

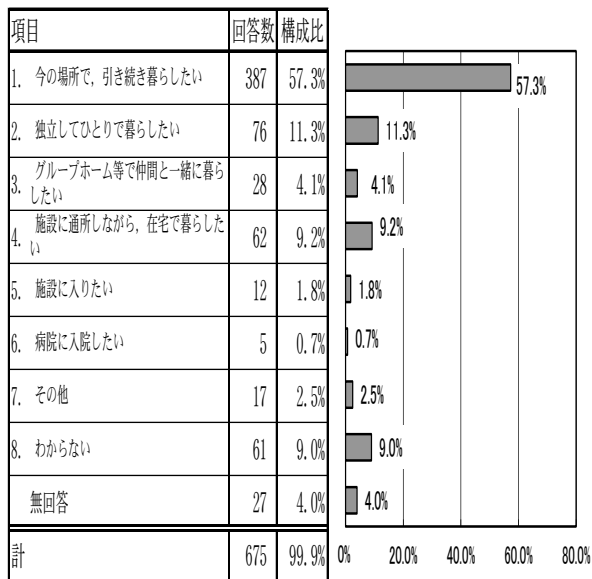
(SA)



■将来のことや障害者施策への要望について、おたずねします。

問34 あなたは、今後どのように暮らしたいですか。

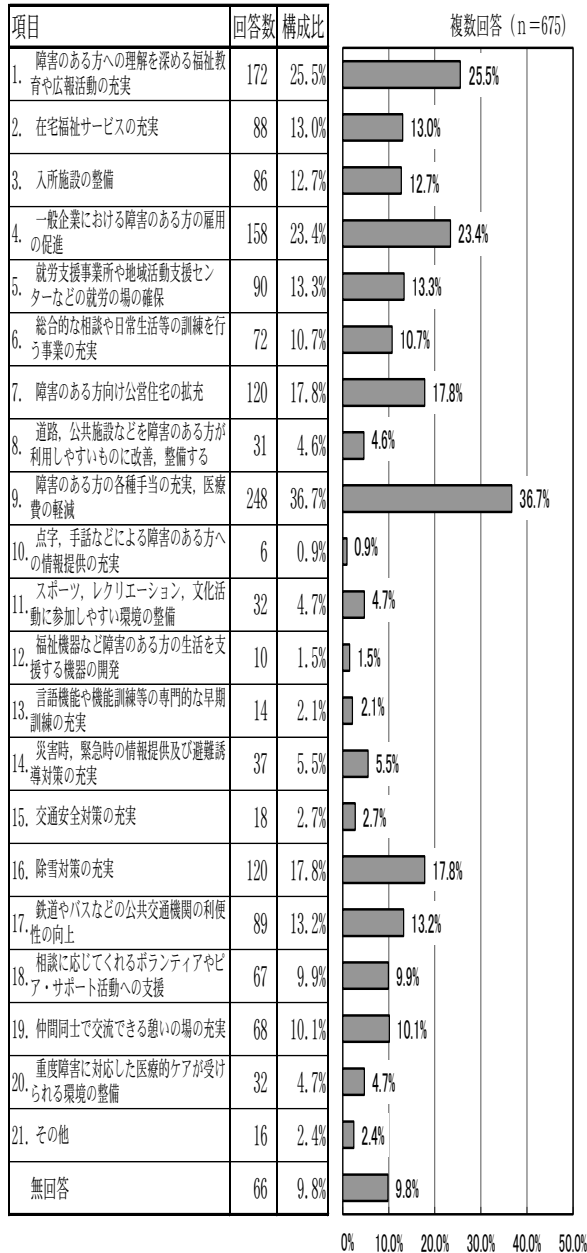
(SA)



問35

(3LA)

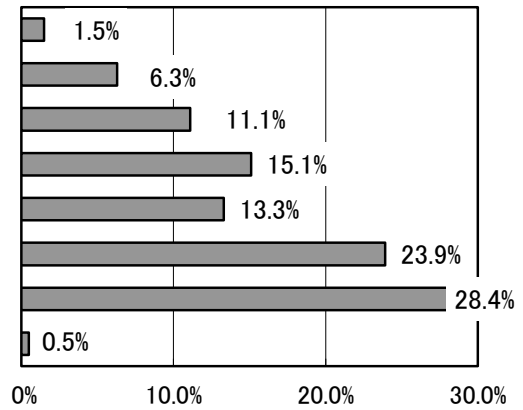
あなたは、今後、障害のある方への施策について、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。



5 18歳以上の旭川市民：調査票D

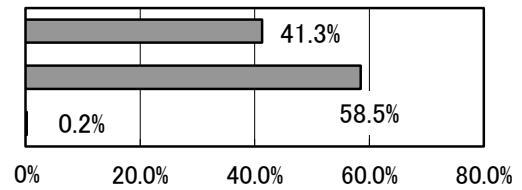
(1) 年齢階層

項目	回答数	構成比
18～19歳	14	1.5%
20～29歳	59	6.3%
30～39歳	105	11.1%
40～49歳	142	15.1%
50～59歳	125	13.3%
60～69歳	225	23.9%
70歳以上	268	28.4%
無回答	5	0.5%
計	943	100.0%



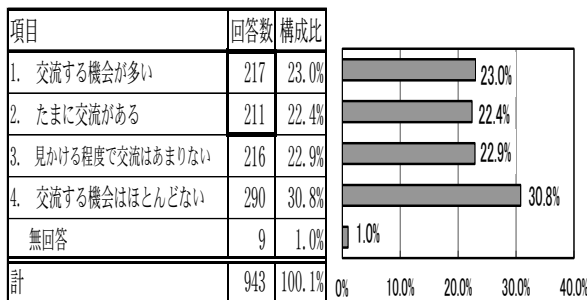
(2) 性別

項目	回答数	構成比
男性	389	41.3%
女性	552	58.5%
無回答	2	0.2%
計	943	100.0%



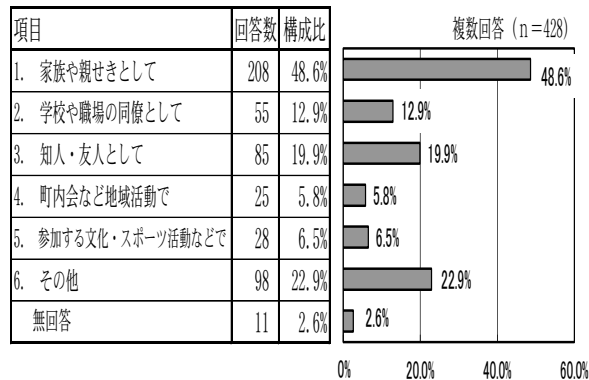
■障害のある方との関わりなどについて、おたずねします。

問3 平成27年3月末現在で、旭川市には、身体障害者手帳の所持者が18,280人、療育手帳（知的障害に関する手帳）の所持者が3,575人、精神障害者保健福祉手帳の所持者が2,465人いらっしゃいます。あなたは日頃、障害のある方との交流がありますか。



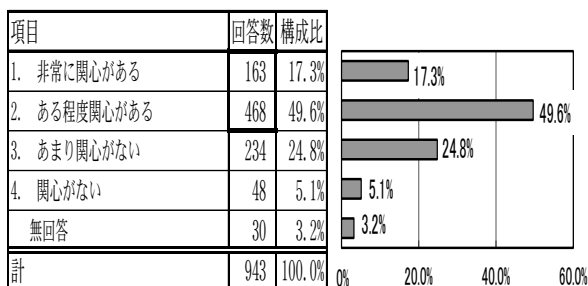
【問3で1または2を選択した場合に、お答えください。】

問3-1 交流している障害のある方とは、どのような関係ですか。

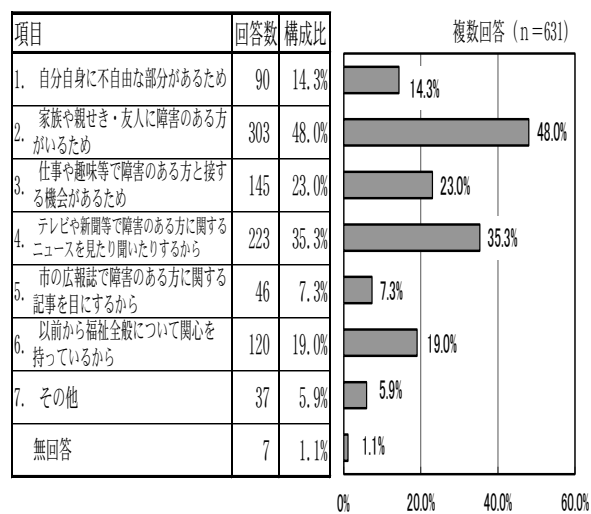


【問4で1または2を選択した場合に、お答えください。】

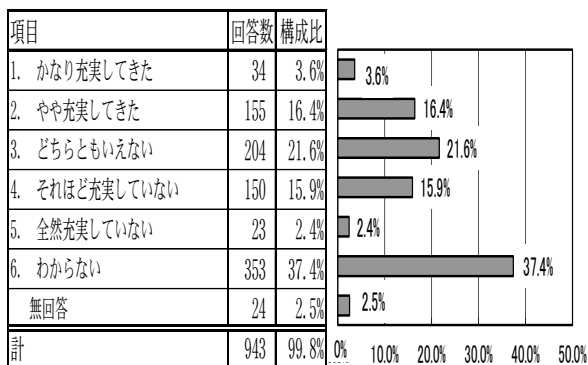
問4 あなたは、障害のある方の福祉に関心がありますか。



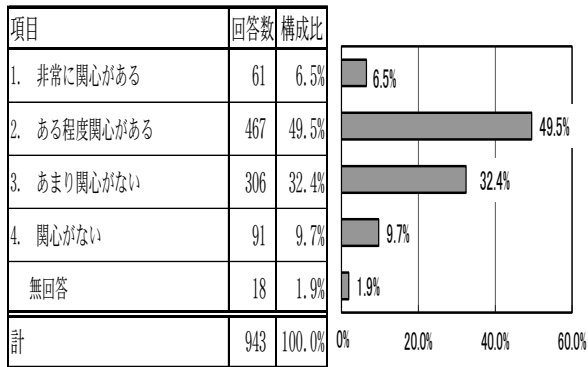
問4-1 どのような理由から関心を持つようになりましたか。



問5 旭川市において、障害福祉サービス事業所は、年々増えておりますが、障害の重度化が進んでいることや、少子化にもかかわらず支援を要する子どもが増加傾向にあるなど、多様な福祉サービスが求められています。あなたは、近年の障害者福祉の状況をどのように認識していますか。

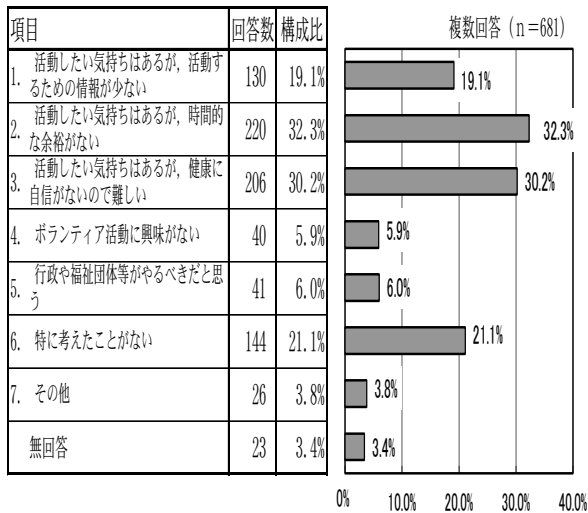


問6 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。
(SA)

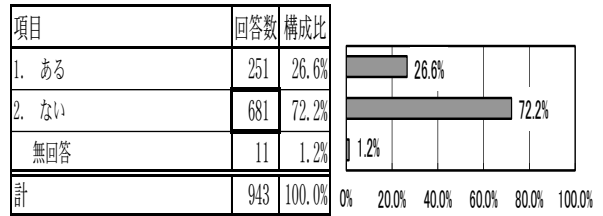


【問7で2を選択した場合に、お答えください。】

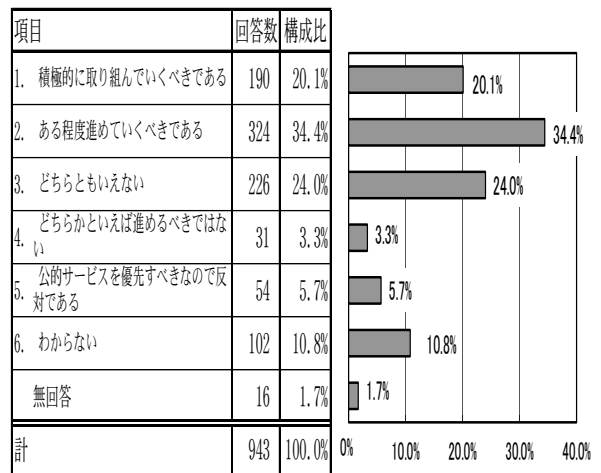
問7-1 ボランティア活動について、どのようにお考えですか。
(MA)



問7 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。
(SA)

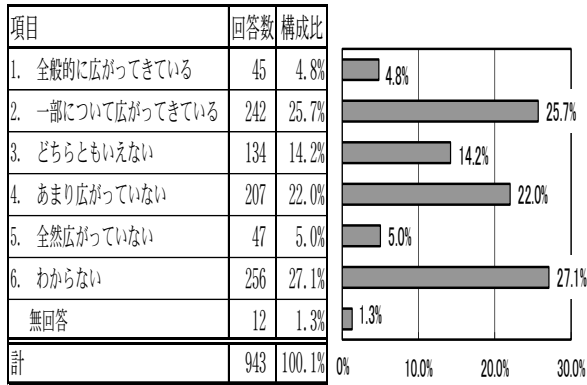


問8 障害のある方への見守りや外出支援などの福祉サービスの一部を、ボランティア（地域住民）で担う考え方があります。あなたは、この方向性についてどのように考えますか。
(SA)

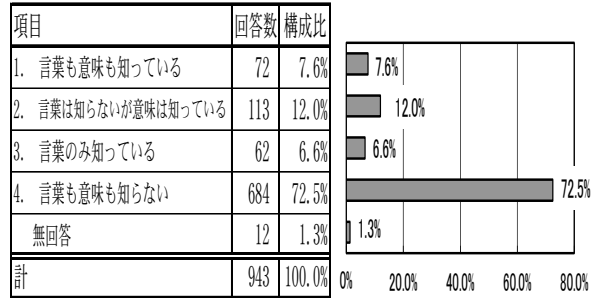


■ノーマライゼーションの理念などについて、おたずねします。

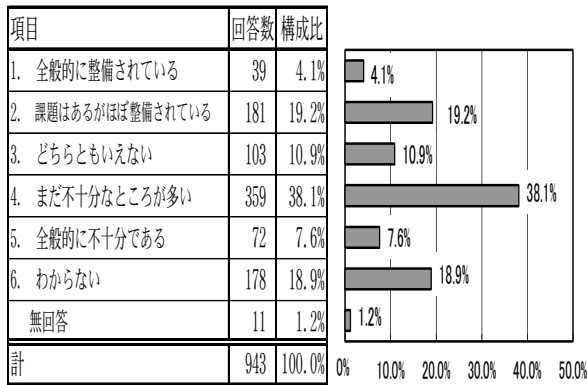
問9 (SA) 障害のある人もない人も共に生活するノーマライゼーションの理念により、障害のある人の自立や社会参加への意識が高まっています。あなたは、障害のある方の活動の場の広がりについて、どのように認識していますか。



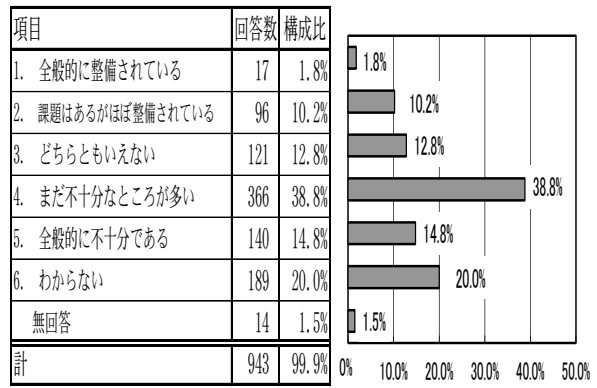
問10 (SA) 教育に関して、国は障害のある児童と障害のない児童とが共に学ぶ「インクルーシブ教育」の推進を目指しています。あなたは、この「インクルーシブ教育」という言葉をご存知ですか。



問11 (SA) 公共的な施設は、段差の解消などにより、障害のある方のみならず全ての人が利用しやすいことが望まれます。あなたは、本市における公立施設のバリアフリーの状況を、どのように認識していますか。

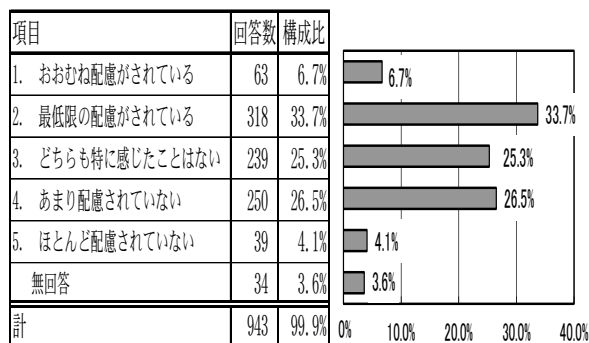


問12 (SA) 続いて、あなたは民間施設のバリアフリーの状況を、どのように認識していますか。

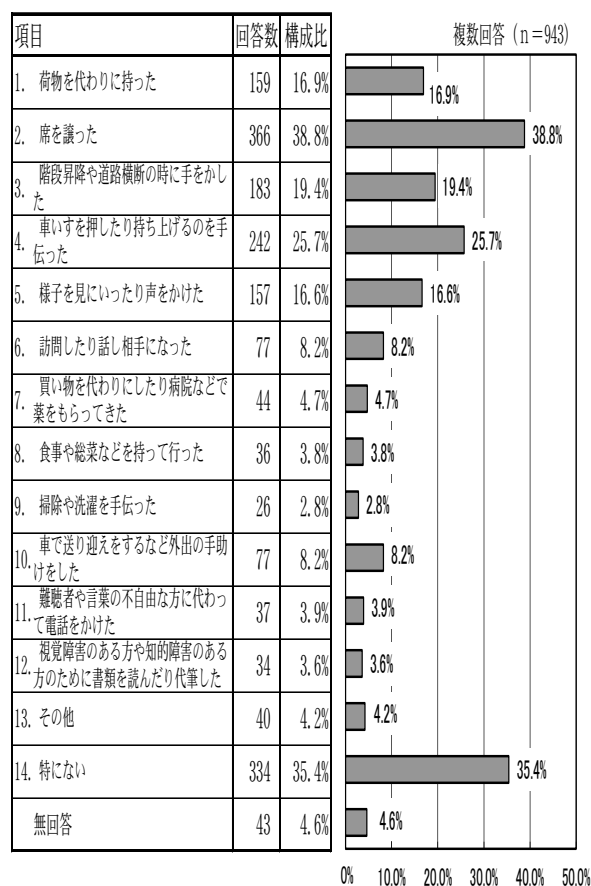


■障害のある方への配慮について、おたずねします。

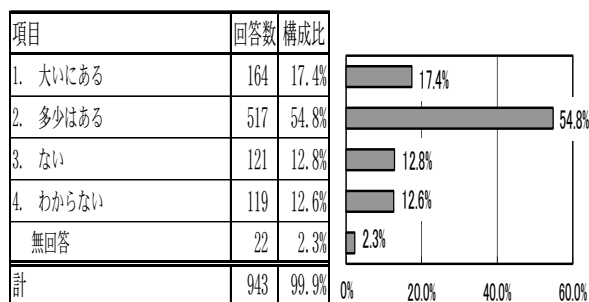
問13 (SA) あなたは、日常（例：買い物、飲食、病院、金融機関、行政手続など）で利用するサービスにおける障害のある方への配慮について、どのような印象がありますか。



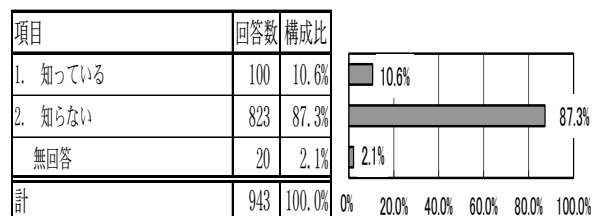
問14 (MA) あなたは、地域や職場、外出先等において、障害のある方から求められたことなどにより、その方の障害特性（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害など）に応じた支援を行ったという経験をお持ちですか。



問15 (SA) あなたは、身近な社会に障害のある方に対する差別や偏見があると思いますか。

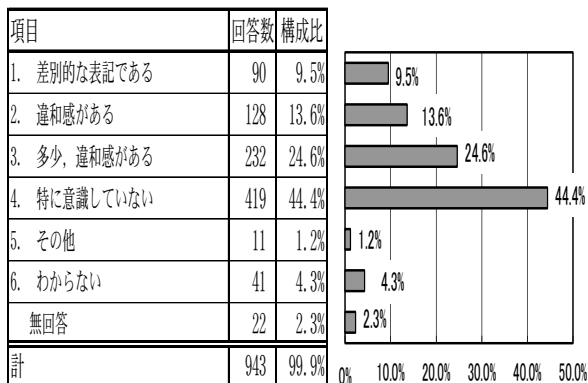


問16 (SA) あなたは、平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されることを、知っていましたか。

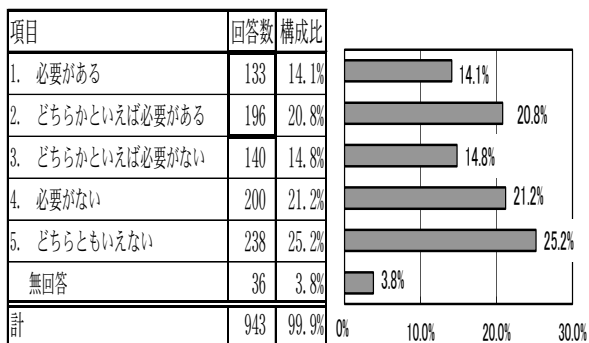


■障害の表記について、おたずねします。

問17 あなたは、「障害」という表記にどんな印象がありますか。
(SA)

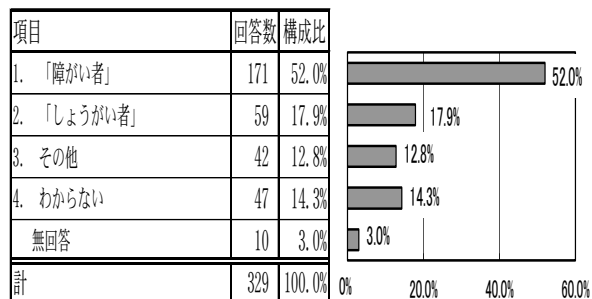


問18 北海道や札幌市は、「障害者」の表記を「障がい者」としています。あなたは、旭川市において「障害者」という表記の一部又は全部を変更する必要があると思いますか。



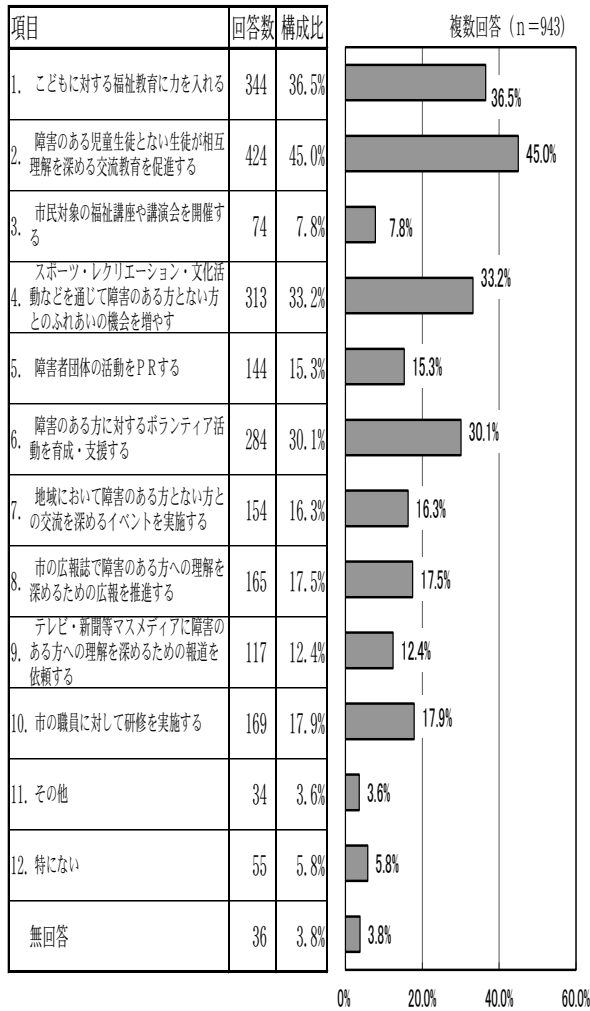
【問18で1または2を選択した場合に、お答えください。】

問18-1 「障害者」に代わる表記として、どのような表記が良いと思いますか。
(SA)

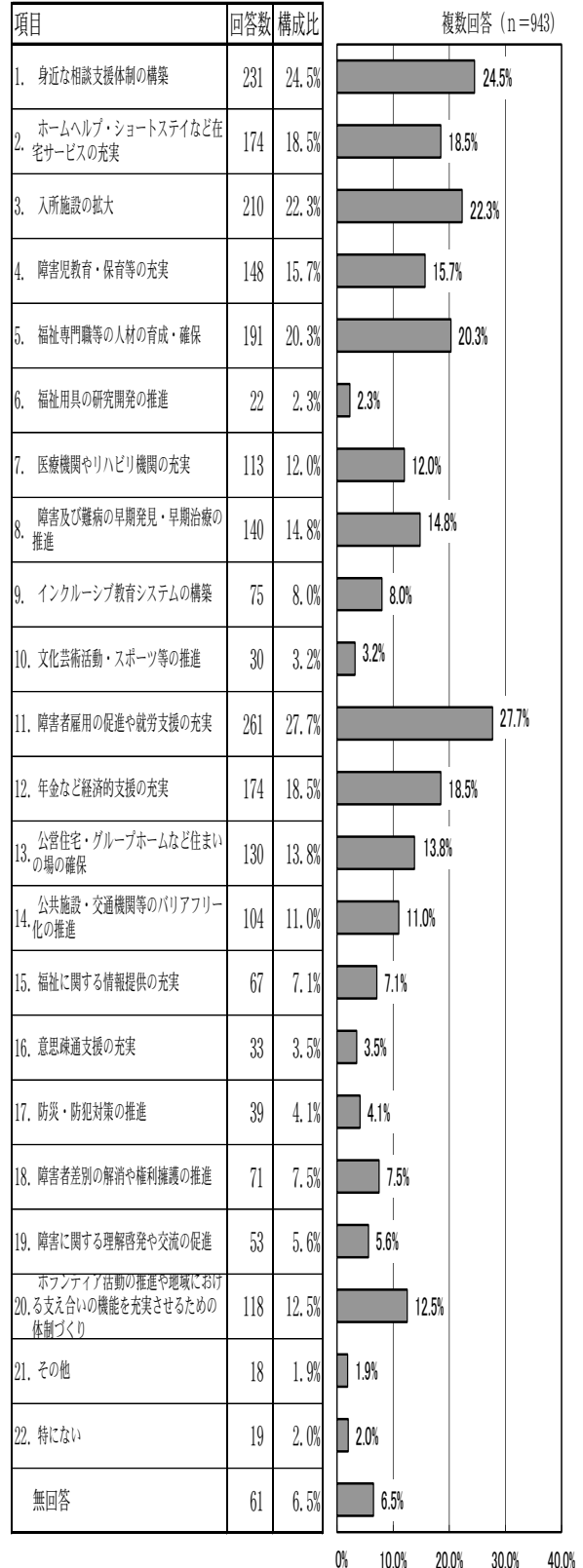


■障害のある方への施策に関する取組について、おたずねします。

問19 あなたは、障害のある方に対する理解を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。
(3LA)



問20 障害のある方が地域で安心して生活することができるために、あなたは、行政がどのようなことをすべきだと思いますか。
(3LA)



旭川市障害者計画策定部会設置要綱

(設置)

第1条 障害者基本法（昭和45年法律第84号）第11条第3項の規定に基づく旭川市障害者計画（以下「計画」という。）の策定に関して必要な事項を審議するため、旭川市社会福祉審議会条例施行規則（平成20年旭川市規則第24号）第4条第1項の規定により、旭川市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会に旭川市障害者計画策定部会（以下「部会」という。）を設置する。

(臨時委員)

第2条 前条に掲げる審議を行うため、旭川市社会福祉審議会条例（平成12年旭川市条例第30号）第4条第2項の規定により臨時委員を置く。

2 前項の臨時委員は、次の団体に所属する者又はその団体の推薦により選任する。

- (1) 旭川盲人福祉協会
- (2) 一般社団法人旭川ろうあ協会
- (3) 一般社団法人旭川翔輝会 北海道難病連旭川支部
- (4) 一般社団法人旭川手をつなぐ育成会
- (5) 旭川精神障害者家族連合会
- (6) 旭川障害者スポーツ協会
- (7) 旭川市特別支援学級設置学校長協会
- (8) 旭川公共職業安定所
- (9) 旭川市民生委員児童委員連絡協議会
- (10) 特定非営利活動法人カムイ大雪バリアフリー研究所

(組織及び任期)

第3条 部会は委員20名で組織し、その任期は計画策定に係る審議終了までとする。

(その他)

第4条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に必要な事項は、部会において定める。

附 則

この要綱は、平成16年5月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年7月17日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年3月22日から施行する。

旭川市障害者計画策定部会名簿

氏名	委員の推薦団体	備考
阿部 龍雄	旭川障害者スポーツ協会	臨時委員
五十嵐 真幸	カムイ大雪バイアフリー研究所	臨時委員
石山 勲	旭川公共職業安定所	臨時委員 平成28年4月から
稲垣 則子	旭川障害者連絡協議会	
今西 良輔	旭川大学	
大友 愛美	旭川市自立支援協議会	
大橋 伸也	旭川市医師会	審査部会委員
岡澤 好弘	旭川市特別支援学級設置学校長協会	臨時委員
小川 博	東海大学	
加藤 健二	旭川盲人福祉協会	臨時委員
小松 美貴子	市民公募	
酒本 俊司	旭川市社会福祉協議会	平成28年3月まで
三本松 壽男	旭川市民生委員児童委員連絡協議会	臨時委員
鈴木 勲	旭川ろうあ協会	臨時委員
関 收	旭川公共職業安定所	臨時委員 平成28年3月まで
高津 修	旭川障害者連絡協議会	
武田 久子	旭川精神障害者家族連合会	臨時委員
大海寺 範之	旭川市社会福祉協議会	平成28年4月から
羽佐間 賢二	市民公募	
林 春夫	旭川社会福祉施設協議会	
松原 玲子	(一社)旭川翔輝会 北海道難病蓮旭川支部	臨時委員
吉田 裕子	旭川手をつなぐ育成会	臨時委員

(五十音順, 敬称略)

計画の策定経過

ア 庁内

実施期間		実施内容
1	平成27年11月18日 ～平成27年12月4日	第2次旭川市障害者計画進捗状況確認
2	平成28年2月5日 ～平成28年2月12日	第3次旭川市障がい者計画素案に対する意見について（1回目）
3	平成28年3月23日 ～平成28年4月6日	第3次旭川市障がい者計画素案に対する意見について（2回目）

イ 市民

開催年月日・実施期間		実施内容
1	平成27年10月28日 ～平成27年12月4日	障害者及び市民アンケート調査
2	平成27年12月22日	身体障害（肢体不自由）関係団体との意見交換会
3	平成27年12月24日	知的障害・発達障害関係団体との意見交換会
4	平成28年1月8日	精神障害関係団体，精神障害者関係通所施設及び精神障害者の当事者との意見交換会
5	平成28年1月20日	旭川小規模障害福祉事業所連絡協議会との意見交換会
6	平成28年1月27日	障害者スポーツ関係団体との意見交換会
7	平成28年4月27日 ～平成28年5月27日	「第3次旭川市障がい者計画（素案）」に対する意見等の募集（パブリックコメント） 7人（個人3人，団体4団体）から意見提出

ウ 旭川市障害者計画策定部会

開催年月日		審議内容
1	平成27年10月6日	部会長の選出について 部会長職務代理者の指名について 第3次旭川市障害者計画策定のためのアンケート調査について 障害者差別に関する障害者及び市民向けアンケート調査の実施について
2	平成27年12月15日	障害者計画策定のためのアンケート調査結果について 「障害者」の表記について
3	平成28年3月8日	今後のスケジュールについて 第3次旭川市障がい者計画素案について 旭川市手話言語に関する基本条例（仮称）素案について
4	平成28年6月23日	第3次旭川市障がい者計画素案に対する意見提出手続の結果について 第3次旭川市障がい者計画最終案について 旭川市手話言語に関する基本条例の制定について